

第十節 庶務

本年中本行重役以下行員の異動は行員新規採用せしもの
 二十二名病氣具の他の事故に依り解僱せしもの二十二名病
 死せしもの五名に比し前年末に比し五名を減せり而して
 其の年末現在員は左の如し

1 表

右現在員を本支店出張所に区別して各職員の俸給を挙げ
 且各年俸總額及一人平均額を挙ぐ水は左の如し

2 表

又前記本行重役の異動に付其の就職退任の主たるもの
 其の筋の任命に係るものを挙ぐ水は左の如し

3 別記

又文書受付発遣の景況を表記して之を前年に對照す水は

日本銀行

左の如し

4 表

右取扱文書總数を國庫營業の西部に分ち其の一日の取扱
 平均高を挙げて前年に對照す水は左の如し

5 表

又本年中庶務の要項を挙ぐ水は左の如し

6 別記

又本年中諸規程の新制改正及事務取扱上の變更に係る
 ものを挙ぐ水は左の如し

7 別記

本店出張所合計

日本銀行

160

[illegible][illegible]

秘書役	一	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一	一五〇〇〇	一五〇〇〇
検査役	三	一、三三三	三、四〇〇	三	一、三三三	三、四〇〇
調査役	九	二、八八八	一、〇七〇	六	一、三三三	八、二〇〇
課長	三	一、九〇〇	五、七〇〇	三	一、三三三	五、〇〇〇
出張所長	四	一、三五〇	五、四〇〇	四	一、三三五	五、一〇〇
書記	四五	三、三三三	六、五三〇	四六	三、三七一	六、六六六
書記補	九	一、三三三	二、八〇〇	一〇一	一、三三三	二、四四四
見習	八一	六、六六六	五、三九二	八一	六、七六六	五、五〇四
工事顧問	一	一、五〇〇	一、五〇〇	一	一、五〇〇	一、五〇〇
技師	三	一、四〇〇	四、三二〇	三	一、四〇〇	四、三二〇
技手	八	四、五〇〇	三、六〇〇	八	五、〇〇〇	四、〇五〇
雇	九	二、三三七	二、一三八	六	二、五一一	一、五〇六
臨時雇	二	一、七一一	三、四二〇	四	一、七五五	七、〇二〇

日本銀行

守衛長	五	二、七三六	一、三三八	四	二、八二二	一、二一八
守衛	四二	一、五五三	六、五二六	四二	一、五二七	六、三七二
小使	九六	一、三三三	一、三六二	九六	一、三九六	一、三四五
臨時雇小使	一	一、七二六	一、七二六	二	一、三三三	二、七三六
女工	九三	一、〇〇〇	九、三三六	九一	九、七五九	八、八六八
臨時雇女工	九	六、六六六	六、〇一二	二七	六、六六六	一、八〇二
機関夫	一二	一、七二四	二、〇六八	一〇	一、五五五	一、八五〇
総計	九	二、九八六	九、七三三	九七三	二、九八六	九、七三三

4

文書受付發遣

本年

前

年

本店	八五、九五二	六七九、七四一	一、五三五、六九三	七七、八四三	九三、三九六	一、七五五、一三九
大阪支店	一三、九二九	六二、八九七	一九六、八二六	八七、三六二	六六、七三七	一五四、二二九
西部支店	五五、一〇	二〇、八八五	七五、九九五	二九、五九三	一九、七二二	四九、三〇五
北海道支店	四一、五〇八	三一、二〇八	七二、七二六	四五、八三三	三七、六七六	八三、五五九
各屋支店	九一、〇二一	八〇、七一二	一七一、七二三	九一、二〇	三三、六二二	三三二、七九二
札幌支店	四九、一四八	六〇、三四七	一〇九、四九五	五一、五二二	五九、四〇四	一一〇、五五六
京都支店	四一、九七二	四二、三九八	八四、三六九	四〇、六七五	六四、六五二	一〇五、五三七
小樽支店	九、〇六六	一九、〇二三	二八、一〇九	九、四六八	一八、〇二六	二七、四九四
福島支店	七二、八一五	三三、七六四	一〇六、五九九	四三、三三七	一八、三六六	六一、五〇三
總計	一、三五五、五三〇	一〇、三〇、九九五	二、三三一、五二五	一、二七〇、四九三	一、四四九、五一二	二、六五〇、〇〇四

日本銀行

5

本年

年

前

年

總計	合計	本店	大阪支店	西部支店	北海道支店	名古屋支店	札幌出張所	京都出張所	小樽出張所	福島出張所	合計
六、三八一、五三五	一、五三二、四八〇	五七六、一五五	三三、一三〇	二二、九五〇	三二、六四五	三九、六一二	六五、四五三	三六、〇四七	一七、〇〇四	二七、〇四九	八四九、〇四五
九、九一三	五、〇四〇	一、九一四	一、〇七	七六	一、〇八	一、三一	二、一六	一、二〇	五、六	九、	二、八二〇
二、六二〇、〇〇四	一、四〇四、五八七	七九六、六二六	三、一七九	二二、五七二	三、五八二	一、六九、九六六	六三、五四一	五五、七三四	一七、二〇二	一九、三三五	一、二五、四一七
八、五七六	四、五五一	二、六三八	一、〇六	七五	一、二八	五、六三	二、一〇	一、八五	五、七	六、四	四、〇二五

3

二月十七日 監事原亮三郎辞任す

第四十二回定式株主總會に於て監事原亮三郎ノ後任者を選舉せしに、鮫島武之助投票多数にて當選し、又明治三十六年末に於て満期退職すへき監事内田耕作、鮫島武之助ノ後任者を選舉せしに、兩名共投票多数にて重任せり

十月二十日 總裁山本達雄は任期満了に付退職す、同氏は營業局長理事を経て總裁に上任し、功績必からざるを以て慰勞として金五萬圓并に金盃一組を贈與せり

十月二十日 松尾臣善日本銀行總裁仰付らる

十二月二十九日 出納局長中山尚之介、休職ヲ命ず

日本銀行

6

一月十四日 調査役久保田勝美に本行福島出張所ノ事務検査并福島、仙臺、盛岡、本金庫及所屬支金庫并代理店事務視察を爲め出張を命じ書記三名を隨行せしめたり

一月二十二日 總裁山本達雄は文書局長伊藤欽亮及書記一名を隨く事務視察を爲め関西地方へ出張し、二月五日歸行せり

一月二十二日 理事首藤諒は事務視察を爲め関西及九州地方へ出張し、二月七日歸行せり

大阪市北区中ノ島一丁目二十三番地に於ける本行大阪支店新築竣工したるを以て、一月二十四日落成式を舉行し、同二月一日移轉せり

本行大阪支店新築工事完結したるを以て、二月十五日限具

臨時建築係を廢止せり

二月二十六日 故小松宮彰仁親王殿下の御葬儀執行に付
本行本店は大藏大臣の認可を得て臨時休業せり

更に業務取調の爲め欧州へ出張を命じ置きたる書記生田
定之、梶原仲治は三月二十日歸朝せり

四月二十八日 事務検査の爲め検査役野々村政也に本行
大阪、西部、名古屋支店及京都出張所へ出張を命じ書記二名
を隨行せしめたり

八月二十四日 事務視察の爲め調査役久保田勝美に甲府、
前橋、早都宮、水戸本金庫及所屬支金庫中央金庫所屬支金庫
并に該地方所在各代理店へ出張を命じ書記三名を隨行せ
しめたり

八月二十八日 副總裁高橋是清は検査役大三輪奈良太郎

日本銀行

及書記二名を隨へ事務視察の爲め北海道へ出張し九月二
十八日歸行せり

十月二十三日 事務検査の爲め書記梶原仲治外二名に本
行大阪、西部、名古屋支店及京都出張所へ出張を命じたり

十月二十四日 大藏書記官佐脇安文氏本行監理官を命じ
たり

7

營業局主管

一月廿六日

當座勘定規程及當座預金規定改正

十月八日

北海道支店及小樽出張所に於て農産物出廻季節に於て信用狀に依り手形を再割引を為すを得る件

今日

北海道漁獵季節に際し北海道支店及小樽出張所に於ける為替手形再割引手續を農産物出廻季節に際し再割引す手形取扱に適用する件

文書局第一課主管

一月廿一日

欠勤三ヶ月ノ起算ノ

五月廿三日

本店負執務中喫烟禁止の件

日本銀行

文書局第二課主管

二月三日

經費規則第十四條但書改正

三月十四日

大坂支店臨時建築係廢止の件

今日

北海道支店出張所に勤負請暇上京の際旅費支給の方

八月十八日

所有物規則中改正
株式局主管

三月九日

保護預規程中改正
計算局主管

六月四日

保護預に係る帳簿中改正

第二章 財政

第一節 國庫金

本年中國庫金收支及年末残高は左の如く

表

以下更に之を半期別とし且其の平均残高を表記す以下左の如し

表

又本年中本支金庫の變更に係る分を舉ぐ以下左の如し
三月三十一日 大藏省告示第百五号を以て鳥取本金庫所屬
江尾支金庫を鳥取縣日野郡二部村大字二部に移し
二部支金庫と改稱す

十月三十一日 大藏省告示第百三号を以て富山本金庫所屬
井波支金庫を本年十二月百富山縣礪波郡出所

日本銀行

大字杉木新村へ移し出所支金庫と改稱す

本年中本支金庫の位置を移轉せしものい本金庫三ヶ所
支金庫二十七ヶ所而して年末現在金庫数は本金庫
三十七ヶ所支金庫四百二十九ヶ所あり

又本年中本支金庫事務の變更解約を為し左の如し
四月日より従前三井銀行の取扱に係る中央金庫所屬横濱横

須賀、中野、小田原、厚木、藤澤、松田、秦野の八支金庫
事務を解き更に第二銀行に委嘱せし而して才二銀行に
委嘱せし中央金庫所屬小田原外五支金庫事務を
更に左記の通り複託を承認せし

小田原、松田支金庫

小田原銀行

藤澤支金庫

藤澤銀行

秦野支金庫

相模銀行

厚木、中野支金庫

全寺才幸八銀行

同日より従前十六銀行より取扱に係る名古屋本金庫所屬
大垣、揖斐の二支金庫事務を解き更に大垣共立銀
行に委嘱す

十月より従前安田銀行より取扱に係る山司本金庫
所屬福岡、前原、甘木、直方、飯塚、東郷、八幡の
七支金庫事務を解き更に十七銀行に委嘱す

一月十六日より従前鉛島泰八郎 取扱に係る 中央金庫所
屬新島支金庫事務を解き更に伊豆銀行に委
嘱す

二月より従前十七銀行より取扱に係る山司本金庫所屬
福岡、前原、甘木、直方、飯塚、東郷、八幡の七支金
庫及山司本金庫志波派出所事務を解き更に
安田銀行に委嘱す

日本銀行

國庫金

前年繰越高	收納高	合計	仕払高	年末残高
中央金庫 五、四六八、一三二、八 _四	三、四七三、三三五 _四	八、九四一、七七 _四	八、六三六、八 _四	三、八〇六、三三 _四
大阪本金庫 四、八四七、三〇七 _三	一、三〇五、七五四 _四	六、一五三、〇五 _四	六、〇三六、三〇 _三	五、七三九、九四 _九
各地本金庫 九、九六、〇二八 _三	四、四六九、九 _九	一、四三、三八九 _七	四、四六三、〇 _五	一、七九、九一 _七
總計 二〇、三七五、〇 _三	九、二五三、四九 _九	二、四三、五五 _〇	二、三九四、九 _二	一九、七五四、二四 _七

國庫金收支半期別表

上半期	下半期	合計及平均
収入高 六、五八九、六七 _四	五、七三三、四二六 _二	一、三九三、二二四、九三九 _五
仕払高 八、六五、六三七、八五 _八	五、二七、八六〇、四二七 _三	一、三九三、四九八、二五八 _二
平均残高 三三、二四二、一七四 _四	三七、八八六、八二〇 _三	三五、一六五、四二八 _四

日本銀行

第二節 公債證書及大藏省證券

一、公債證書

本年中公債證書發行償還の景況を見、以發行總額貳千九百拾六萬圓償還額八百五拾九萬千四圓^{五拾六}其の詳細は左の如し

發行

一、帝國政府五分利公債證書額面千九百六拾九萬八千貳百五拾圓

内譯

千百六拾九萬八千貳百五拾圓 三月

八百萬圓 十月

一、台灣事業公債證書額面九百四拾六萬千七百五拾圓

内譯

日本銀行

五百四拾六萬千七百五拾圓 三月

四百萬圓 四月

合計額面貳千九百拾六萬圓

償還

一、金禄公債証書額面七百四拾九萬七千貳百五拾圓

内譯

四百四拾九萬八千四百拾五圓 抽簽 二月

貳百九拾九萬八千八百參拾五圓 令 三月

一、海軍公債証書額面四拾九萬九千參百圓 抽簽 二月

一、整理公債証書額面貳拾萬八千圓^{買入價格 九拾四萬七千七百五拾圓 九拾五萬五千圓} 五月

一、軍事公債証書額面拾六萬六千九百圓 令 五月

一、旧公債証書貳拾壹萬九千四百五拾四圓五拾錢

合計額面八百五拾九萬千四圓五拾錢

右発行償還の結果に依り本年末の現発行高は四億四千百
 参拾参萬貳千五百貳拾壹圓に比し前年に比し貳千五拾六
 萬八千九百九拾五圓五拾肆を增加せし乃ち之を各種類に
 區別し前年と對比すれば左の如し

更に右年末現在高を記名無記名の二種に分ち各府縣及其
他の所在地に表記すは左の如し

又本年中本行に於て取扱たる國債元利預金勘定は左の如し

3
表

日本銀行

	本年 末日	前年 末日
整理公債	一六七、二八、三五〇〇〇	一六七、三三六、四五〇〇〇
軍事公債	一一五、六四一、一五〇〇〇	一一五、八〇八、〇五〇〇〇
大日本帝國政府五公利公債	一二七、二七三、五〇〇〇〇	八九、二七七、七五〇〇〇
金 庫 公 債	一六、六三一、六四〇〇〇	二四、一二八、八九〇〇〇
海軍公債	八、二九七、三〇〇〇〇	八、七九六、六〇〇〇〇
台灣事業公債	二、四一〇、四〇〇〇〇	一一、三四六、一五〇〇〇
旧 公 債	三、九五〇、一八〇〇〇	四、一六九、六三五〇〇
合 計	四四一、三三二、五二一〇〇	四二〇、七六三、五三五〇〇
四分利付 英貨公債	一〇、〇〇〇、〇〇〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇〇〇

備考

本表中台灣事業公債より帝國五公利公債に引換なり

日本銀行

高千八百貳拾九萬七千五百圓なり

三十六年現在本邦公債證書府縣別調書

府縣	種類	記名無記名合計		
		記	無	計
北海道廳		五七七、一五〇	一、三〇一、四〇〇	一、八七八、五五〇
東京府		二九、八三四、〇一〇	一八六、七一四、二五〇	二六、五四八、二六〇
京都府		三、五四一、八二〇	六、九三五、五〇〇	一〇、四七七、三二〇
大阪府		五、三五八、〇六五	一四、二六九、三五〇	一九、六二七、四一五
神奈川縣		七五七、〇四五	四、八四九、〇〇〇	五、六〇六、〇四五
兵庫縣		一、六六三、〇〇〇	三、七一二、九〇〇	五、三七五、九〇〇
長崎縣		五〇三、九〇〇	一、三七二、四五〇	一、八七六、三五〇
新潟縣		九六七、九二五	二、六四五、〇五〇	三、六一二、九七五
埼玉縣		一、三九〇、九五〇	七三七、九〇〇	二、一二八、八五〇
群馬縣		二六一、二五〇	七〇九、七〇〇	九七〇、九五〇
日本銀行				
千葉縣		四二六、五七五	五〇五、七〇〇	九三二、二七五
茨城縣		五二一、八二五	八八二、四〇〇	一、三九四、二二五
栃木縣		七三七、五二五	六四二、八五〇	一、三八〇、三七五
奈良縣		五一〇、一〇〇	一九四九、三五〇	二、四五九、四五〇
三重縣		一、五九六、七二五	三四九六、九五〇	五、〇九三、六七五
愛知縣		四、一二二、二二五	五、五七四、〇〇〇	九、六九六、二二五
靜岡縣		一、〇一五、六七五	一、六三二、〇〇〇	二、六四七、六七五
山梨縣		六三五、八二五	五五〇、〇〇〇	一、一八五、八二五
滋賀縣		一、九三三、八一五	三、八八〇、九〇〇	五、八一四、七一五
岐阜縣		一、一九〇、九三〇	二、五三八、四五〇	三、七二九、三八〇
長野縣		一、四四一、二〇〇	一、四五〇、三五〇	二、八九一、五五〇
宮城縣		三一五、〇〇〇	九三六、一五〇	一二五一、一五〇
岩手縣		三四五、八七五	三七三、五五〇	七一九、四二五

青森縣	三七八、九二五	七七一、〇五〇	一一四九、九七五
福島縣	一、三三二、四七五	三、〇九七、一〇〇	四、一二九、五七五
山形縣	九五三、七五〇	五五四、九五〇	一、五〇八、七〇〇
秋田縣	一、一七三、〇三五	一、八八八、九五〇	三、〇六一、九八五
福井縣	五六一、〇二五	二、一六四、二〇〇	二、七二五、二二五
石川縣	六七一、二二五	一、〇九二、四〇〇	一、七六四、〇二五
富山縣	七三一、九七五	四四九、一五〇	一、一八一、一二五
島根縣	六一一、二五〇	一、六五三、四五〇	二、二六四、七〇〇
岡山縣	六二五、九二五	二、五〇〇、四五〇	三、一二六、三七五
廣島縣	八四三、九二〇	三、八〇二、一五〇	四、六四六、〇七〇
山口縣	二、〇二七、一七五	二、七九五、〇五〇	四、八二三、二二五
和歌山縣	四六二、八一〇	一、五九一、四〇〇	二、〇五四、二一〇
日本銀行			
德島縣	九一三、四二五	一、三一九、五〇〇	二、二三二、九二五
香川縣	八四二、〇七〇	一、一八二、三五〇	二、〇二四、四二〇
愛媛縣	八〇九、八五〇	八七四、六五〇	一、六八四、五〇〇
高知縣	八七九、九二五	六八一、二〇〇	一、五六一、一二五
福岡縣	七三〇、二二五	三、八五一、八〇〇	四、五八二、〇二五
大分縣	五九四、四二五	一、一九五、四〇〇	一、七八九、八二五
佐賀縣	四七三、五七五	八六一、〇〇〇	一、三三四、五七五
熊本縣	三二六、八七〇	一、二二〇、五〇〇	一、五四七、三七〇
宮崎縣	三四八、五二五	六八七、五五〇	一、〇三六、〇七五
鹿兒島縣	三三一、四七五	八六〇、二〇〇	一、一八一、六七五
沖繩縣	三一五、〇	二七七、八五〇	二八一、〇〇〇
臺灣	二、〇五〇	二、七〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇
倫敦	〇	六〇、三六七、二五〇	六〇、三六七、二五〇

總計

七五、九五七、八六五 三四六、一〇八、七〇〇 四二二、〇五八、五六五

外、倫敦所在英貨公債證書壹千萬磅

備考

本表は推定より計算に係り、今之を前表と對照せん
 千九百貳拾七萬參千九百五拾六圓の相違あるは本表
 には旧公債の額面を以て算出し、且十月二十日の發行
 に係り、帝國五分利公債及び冒中台灣事業公債より
 引換たり、帝國五分利公債を算入せざるに依り、

日本銀行

3

國債元利預金

	前年より繰越高	受入高	仕入高	年末繰高
本店	七、一、五七〇 ^四	七、二、八〇、九二 ^四	七、二、八、三、七九 ^四	五、四、六、一、六三 ^四
大阪支店	三、四、五三九	三、八、二、三三	三、八、七、五三	三、二、六、二一
西部支店	五、八、〇九二	五、八、〇、九六	五、五、三、九二	五、三、二、八七
北海道支店	六、八、八六	六、〇、二七	五、三、三、八	一、三、六、六五
名古屋支店	二、三、四七四	一、四、四、四〇	一、三、五、一、六〇	三、八、一、二二
札幌出張所	三、二、四七一	四、八、九七	五、〇、二九	一、二、五、六九
京都出張所	一、七、四四二	一、七、四、四八	一、六、四、九一	一、七、七、一九
小樽出張所	六、八、五	一、九、一、二六	一、七、九、〇七	一、九、四、二七
福島出張所	三、三、一、九三	三、三、九、〇七	二、六、二、三三	三、四、七、三〇
代理店	四、八、八、二五	一、五、二、六、二二	二、三、七、〇、二二	四、八、四、一、六
總計	六、三、四、三、七八	九、一、七、四、四二	九、一、五、二、八、二六	六、三、四、九、四四

日本銀行

（二）大藏省證券

本年中に於ける大藏省證券の發行及償還高次の如し

一、發行額千萬元（第九回）四月

一、償還額貳千萬元

内譯

千萬元（第七回）三月

千萬元（第八回）四月

日本銀行

第三節 貨幣

本年中各月末日に於ける貨幣流通高を擧げて
前年に對比すものは左の如し

	本年	前年
一月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
二月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
三月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
四月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
五月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
六月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
七月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
八月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
九月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計

日本銀行

十月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
十一月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
十二月	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計
平均	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計	硬貨 紙幣 合計 硬貨 紙幣 合計

右硬貨の外兌換銀行券發行準備に供せしむる所
の金銀貨は、今其高を加へて之を各種類に區別
し其月末在高を觀るに左の如し

	本年	前年合計
一月末日	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計
二月末日	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計
三月末日	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計
四月末日	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計
五月末日	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計	金貨 補助銀貨 白銅貨 銅貨 合計

第三章 金融

第一節 東京

本年中東京市内金融の景況を摘記すれば左の如し
新年に入りや昨年末に出た巨額の資金も其の回復
意外に迅速なりと而も其の高亦意外の巨額に達し
制限外兌換券の如きも忽ちに回収し尽し金融市場
も俄然緩慢の状あり市中銀行の如きは預金利
子の引下を為したるに拘らず預金は却て増加の量
呈せり然れども月末に至るとは陰曆節季の關係より地方
に於ける資金の需要頗る増加し本行月末貸出金殊
高も五千四百萬圓に達し発行餘力は將に尽きんとす
至りし二月に乃至は是等の資金も陸續回收せり
又三月には新需要は更に起らず市中金利の如き日歩一

日本銀行

七八厘を下り近年稀有の低落を示す斯く三月に入り
大藏省証券一千萬圓の償還あり又前月抽籤を執行し
諸公債五百萬圓の償還あり而して外國貿易は依然輸入
超過するに拘らず金銀は却て流入し従て正貨準備次第に
増加し發行餘力は三千萬圓を超ゆるに至りし本行は本
月十日より貸付日歩一厘七厘割引日歩一厘六厘に引下
然るに先づ市中日歩は已に一厘七厘の間あり且株式
市場は頻りに好況を呈し此の機に乗じ高利の社債
を低利に借替へ又新に社債を發行し若しくは株金払込を爲
したる會社数ありしと社債の發行一時事業界に流行し
左の如く社債の如きは全く借替に過ぎざるもの多しと新に
資金の投入を要す此は至る稀あり四月に乃至夏
物仕入製茶資金等々需要甚なりと爲るを要す資金の

額は一向後慢ある金融を左右するに足らず 加之四五月
の交うは満州に於ける外交より成行漸く穩ちるを
とし為るは商工業は愈々回復の望を失ひ資金の用
途益々減少し本行貸付金の如き五月下旬に及ぶは一時
僅に千七百餘万円下り尚引續き金銀の輸入ありて正貨
準備は益々増加し發行餘力は四千三百餘万円の巨額に
達するに至る 延之市中銀行も預金増加貸出減少の姿
となり日歩は依然として一歩六厘を保持する 六月に入
りには漸く製糸資金の需要期に入りしをみえたる中旬
より下旬に及ぶと半季決算用資金の需要あり 金融市場
は幾分の繁忙を来し其の結果本行貸出金は三千餘万
円より下り延之市中金利の如き二厘半の引締を致し
在りて大体の商工業は甚々靡不振ある上外交の不安を
作

日本銀行

の不良は痛く人氣を消沈し金融は大勢凶悪なるを免
れず 七月に入り本行始め市中銀行共生糸資金の外一
時需要の資金は漸次回收せられ市中日歩も孟蘭盆節季
助定期の過ぎ後は再び一歩六厘に復ち 然るに八月に
了て各地米作豊穰の聲高きと共に漸く久しく沈睡せし
高況は幾分か引立つた氣味あり殊に陽曆孟蘭盆節季
に會するや資金の需要再び増加し末日の本行貸付金高
三千餘万円のより市中日歩も約一厘半の引締を見られ
至り然るに其の期を過ぎてもや資金は續き回復せられ
且本年の生糸輸出は頗る好況なり 貿易も九月より
一轉し輸出超過となり金融後慢の度一層甚しく因に市
中各銀行は益々再び預金利率の引下を行ひて要其の
影響あり新規預入益々多きを加へ各銀行は近頃より

巨額の遊金を手許に擁するに至り、遂に日歩に一段下落
て普通一五五兩とあり、十月に及ぶは例年金融漸く
繁盛を告ぐる時期とあり、殊に米作は近年稀なる豊收に
て地方の人氣著しく、引立たぬは久しく、沈淪する商況は漸次恢
復するに等しきに満洲問題は益々切迫するの模様あり、遂に
一般の人心危惧万事控勝とあり、資金の用途自薄く右銀
行も相應に巨額の遊金を抱き、警戒を怠らざる、斯く
十月とありは金融緩慢の度を高し、前に放出せし資
金は日、回收し来り、償出は益々減少し、預金も急増加
し、資金利は次第に低落し、本行貸出金は僅
に二千百餘万圓に減少し、市場の形勢益々極度先月
の有様を見ても程なきところ、十月に入り、猶緩慢
の狀態あり、九月後日露の關係頗る切迫し来りしのみふ

日本銀行

る、外國貿易の引續き輸出極盛とあり、抑らば金銀は頻に輸
出極盛とあり、金融市場は稍警戒の折柄特、中旬には歲
末決算用資金の需要意外に巨額に上り、右銀行の店
頭漸く繁忙の色あり、遂に市中日歩は急、二重の引締り
一五六兩乃至二五兩の間を往来し、本行利子も此に已に上轉と
なり、本行資金の需要日に増加し、年末貸付は殊高は
五千百餘万圓に上り、貸付餘力は四百萬圓に減少したる
左に、大体は急事平穩に、制限外發行を見了
に至らず、越年せしは近年の異例とあり、所あり
以上記す、所に依りて之を觀るに要するに、本年の金融
は尚前年より如く年首より年末に向て次第に緩慢の
度を加へて経過せしものなり、前年末の金融緩慢度
其の極に達せしものあり、而して外國貿易の好調米作

豊饒一般の人氣を引立つるに至る、商工業は依然として萎靡沈衰、從て資金の需要更に起る。是れは是れ金と日露問題の紛糾、東洋の風雲、穩ちるものあり、あるに因り、あるに因り、今東京組合銀行の營業成績に就て之を觀るに一千四百以上、一万円未満の範圍内に於ける貸付金、利子歩合は左の如し

1 表

以上最高は六月以後の一割三厘五厘、最低は十一月の四分二毛、前年に比し著しく低率を示せ、預金貸出金及金銀在高の景況は左の如し

2 表

以上送金手形、荷為替及割引手形の受拂は左の如し

日本銀行

3 表

以上其受拂金額を合計せば、受入高二億六千七百八萬千九百二十四円、仕拂高四億二千六萬七千三百二十四円、差引一億三千三百十八萬五千四百三十四円、仕拂超過とある。又東京交換所の手形、小切手、交換高を舉ぐれば左の如し

4 表

				本年				前年			
				最高	最低	平均	最高	最高	最低	平均	
一月	一、〇九五	、七三〇	、九二四	一、二〇五	一、〇五九	一、一三四					
二月	一、〇五九	、七三〇	、九二〇	一、二八六	一、〇一〇	一、一四〇					
三月	一、二四一	、五四八	、八六五	一、二五三	一、〇〇七	一、一六九					
四月	一、二七八	、四七五	、八四七	一、二三二	、九七五	一、一五九					
五月	一、二七八	、五二九	、八五一	一、二三五	、九九三	一、一五五					
六月	一、三五一	、六〇二	、八五八	一、二三四	、九七八	一、一四四					
七月	一、三五一	、五四八	、八五一	一、二二七	、九七一	一、一四〇					
八月	一、三五一	、六二一	、八五八	一、二二〇	、九五六	一、一三九					
九月	一、三五一	、五九九	、八四〇	一、一九二	、九三一	一、一〇四					
十月	一、三五一	、六〇二	、八四〇	一、〇六二	、八九四	、九七〇					
十一月	一、三五一	、四〇二	、八二九	一、〇〇八	、八六九	、九四五					
十二月	一、三五一	、四七五	、八三二	一、〇九五	、七三〇	、九三一					
全年	一、二八四	、五七二	、八六〇	一、二〇五	、七三〇	一、一三三					

日本銀行

				本年				前年			
				預金	貸出金	金銀在高	預金	貸出金	金銀在高		
一月	三、一三、九九	一四、八五、三〇	一五、四九、三四	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六		
二月	三、一三、九九	一四、八五、三〇	一五、四九、三四	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六		
三月	三、一三、九九	一四、八五、三〇	一五、四九、三四	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六		
四月	三、一三、九九	一四、八五、三〇	一五、四九、三四	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六		
五月	三、一三、九九	一四、八五、三〇	一五、四九、三四	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六		
六月	三、一三、九九	一四、八五、三〇	一五、四九、三四	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六		
七月	三、一三、九九	一四、八五、三〇	一五、四九、三四	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六	二、七四、七四	一、四一、四三	一、三三、三六		

3, 1

送金

平均	十二月	十一月	十月	九月	八月
一五、三四七、七三	一四、六九、五五	一四、一五、一八	三九、三三、四三	一三、九八、三八	一五、六八、九八
一五、五七、七八	一五、六八、四七	一四、八八、五三	一四、三三、七七	一五、二四、九七	一五、八八、四七
一八、七九、八三	一九、三三、九八	二二、三三、七四	二二、三三、四四	二二、七四、三二	二二、二二、五五
一三、四七、四三	一三、九五、四七	一八、一三、七六	二二、八七、五三	一三、五三、一六	一五、九三、七四
一三、三三、七三	一四、六九、三八	一七、六四、九四	一四、九三、八四	一五、二一、四二	一五、九八、三七
一六、三三、二五	一六、六二、三六	一六、五三、〇二	一七、七六、八二	一六、七八、三九	一五、九八、三七

日本銀行

受入	仕年	受入	仕年
受入	仕年	受入	仕年
一、八五五、五二六	二四、六八四、一九三	一、五四八、〇七六	二二、七八二、四二四
二、三三六、六五七	二二、〇二九、四四三	九、八〇四、二七〇	一九、五五五、三三八
一、五七二、二〇〇	二八、六二七、九五二	九、六六七、九八六	二五、五二一、五六六
一、四九二、九九九	三〇、四二一、七二六	一、五二六、九二二	二八、四四九、八五〇
一、九七八、三五四	二四、七二八、五七五	九、四四四、八四二	二一、〇七六、二二一
二、三九五、二六七	二九、九七〇、六三七	九、六五四、八三九	二六、三二八、〇三八
一、七八三、七二〇	二六、九七九、五三三	二、一四七、一四二	二五、〇五一、二四四
一、五七六、〇〇二	二八、七七四、九二五	一、五三三、七六一	二七、三三九、八二一
二、〇二六、二二二	二七、二〇三、六三〇	一、九五三、一六七	二四、三五三、八五〇
一、二七八、四〇六	三〇、八〇八、六五四	一、二六二、七二六	三〇、〇七五、〇九五
一、二七六、五五七	三〇、二〇九、三六八	一、二五八、〇三五	二六、六四九、六三七
一、四七三、九七六	三三、五二七、六二二	一、四八一、六二六	三三、五七一、一四八
一、四九一、七六六	三四、二九二、二三八	一、三三三、三三三	三〇、七三三、二二〇

3, 2

荷為替

	本年		前年	
	受入	仕掛	受入	仕掛
一月	三、〇八九、七九三 _四	一、一六五、二〇四	二、〇八七、四二六 _四	六三九、四七二 _四
二月	二、五六四、三二五	一、五一四、九〇〇	一、七二九、四一六	二三五、五九四
三月	二、七〇九、五九六	九三二、七一一	一、六八一、六四三	二八〇、六八二
四月	三、〇二五、五八八	九四七、六二一	一、八八一、九九七	二二七、一八五
五月	二、五三六、三〇四	一、三三四、七三二	一、九二三、二〇三	三八八、三四四
六月	一、八二六、一〇七	九六九、八四六	一、八一八、六六二	四二八、〇九六
七月	三、五〇八、〇二五	一、三二四、八三九	二、四四四、〇六六	二九二、八四五
八月	三、八六五、九五九	八八五、六〇〇	三、四四〇、一〇八	三六九、四〇九
九月	三、〇三四、八八一	六〇〇、九三二	三、〇三七、五九二	二二九、五三九
十月	三、四二九、三三四	六九四、四六八	四、七五四、六二三	八三五、六三四
十一月	三、五八〇、八一〇	九〇五、八八六	三、七〇四、九六七	五〇四、七二六
十二月	三、三三四、二〇四	一、〇三九、六九一	五、三八八、七〇五	八三九、九六五
合計	三六、四九四、九二六	一、二一〇、六四三	三三、九〇二、四〇八	五、四二一、四八一

日本銀行

3/3

割引

	本年		前年	
	受入	仕掛	受入	仕掛
一月	七、二一九、八三九 _四	三、四八五、八四〇 _四	五、八五四、一〇五 _四	二、三七八、三六〇 _四
二月	六、七九九、一四〇	三、三一九、二〇八	五、七〇〇、三三五	二、六四九、四九九
三月	六、六九五、九三三	三、六九五、九二四	五、九三五、三六五	二、四七二、〇二九
四月	六、四一八、八四〇	三、二一〇、二五七	六、五八八、四五五	四、五二七、八六三
五月	六、〇八九、五五九	三、八四一、八五二	六、四九〇、〇三四	三、八六二、九四六
六月	九、四四二、九四九	四、一三一、八〇一	七、九四二、〇七四	二、九〇一、〇七七
七月	六、〇三四、二九三	三、八四〇、二五八	六、八九三、〇二八	二、八一六、〇六九

4

八月	八、五〇七、二二三	三、九四八、六一三	七、〇二五、〇五五	三、九九三、六九九
九月	八、〇八二、〇一三	四、一三六、〇一〇	八、二五六、二七八	三、八二二、七九八
十月	八、四四四、一九五	三、七七八、五二六	七、七四〇、八九三	四、五八五、〇〇六
十一月	七、六六五、七九四	三、七八七、九一六	七、九五八、五六八	三、四九五、一二六
十二月	九、六七三、四四一	四、〇五八、四七三	九、三四四、〇三三	四、一三三、五三八
合計	九、三九六、三三三	四、五三三、四九九	八、五七〇、二四三	四、一七二、〇一〇

本年		前年	
一月	一〇九、九六四、一三三	八五、六七二、九一七	四
二月	一一七、五一六、六四六	九四、九五〇、八八八	
三月	一三七、一〇二、四五六	一一六、四七四、二三〇	

日本銀行

四月	一三八、〇八五、五三一	一一二、〇五六、一二一	
五月	一二一、三〇二、五五〇	一〇二、六四四、二二五	
六月	一三二、二〇七、〇〇七	一〇二、九五四、六一六	
七月	一二五、三七六、六一七	一一一、九〇〇、九七五	
八月	一二五、五八六、八三〇	一一三、八六七、四八一	
九月	一二六、四三四、〇六五	一一四、九八三、二五七	
十月	一三七、九二六、八八二	一二八、一五五、九二二	
十一月	一二八、二〇一、六二一	一一七、一三六、九六六	
十二月	一六二、九三二、六一五	一四九、九九三、四六三	
合計	一、五六二、六三六、九五三	一、三五〇、七九一、〇六五	

第二節 大阪

本年中大阪市内に於ける金融の状況を摘記すは左の如し

年初に於ては前年末に出でたる決済資金の回収迅速にして金融は頗る緩慢を示したるの中旬以後は諸會社配当金の仕拂地租の納入等を始め旧暦大節季の準備として地方に流出したる資金少ならず殊に恰に月末と旧暦節季と重合したる為め市場一時意外の繁忙を感ず一日歩も一季九厘に引締り

二月に於ては

是等の資金の回収も亦金融は再び緩慢の一方あり組合銀行は預金利率の引下を断行し最低を七厘とせり

三月に於ては棉花の輸入の底入の安さ

り外國米の輸入亦一段落を告げ又第五回内國博覧

日本銀行

會開會の爲め市中は多少景氣付たり觀望するものあり之と同時に之を爲め却て寂寥を加へたる部分亦之ありあるとして一般の商工業は依然不振の域を脱す能はず従て金融市場は益々閑散に赴き日歩も漸く一季五厘に保たれ本行も店の如き貸出殊高止し不円殆ど少額に下りたるあり

實に近年の異例に屬す

四月に入りては博覧會觀覽の好期となり各地方より人出は豫想外に増加したるも商品の賣行の如き單に會場附近に止り金融の狀態依然として活氣を呈するに至らず只中旬以後は各鉄道會社の配当金及各種債券の払込等も資金の異動多く且月末には製茶並に養蚕資金の新需要起り日歩も幾分の引締り

斯くて

五月に入りては博覧會は到底従前の不景氣を挽回

すゝ見込絶え且天候は兎角不順々々表作案の
結果世上不景氣の聲高々夏物仕入の如き單に右用
小口の需要に止り金融の緩慢殆ど底止す所を知らし
只製茶並に養蚕の季節たる之を氣構々々満州問
題漸く不穩の形勢を現出さるる前途を
考慮し金利の如きも日歩一厘五厘に保合の比較的軟
弱に陥るる事 六月中旬より関東及尾勢地方に供
給せる製糸資金多く殊に当地の支店を有せる東京銀行
は何れも資金を手許に招致せざる其の影響を蒙り
且半季大即季の關係を月末は金利も頗る引締
り日歩も一厘六七厘を唱へたり 七月に乃至は製糸資金
の需要も一段落を告げ上半季決済資金も速に回収し
目先は銀行會社の配当金及第一期酒造税の納入も格

日本銀行

別の影響を金融は層々緩慢となり日歩の如き表面
一厘五厘に保合の居り中には一厘三四厘の貸出に
應ずるものあり貸出と預金との利鞘殆ど皆無に帰
したる事 市中大銀行は又預金利子を引下げ最低を
五厘とする事あり 八月は銀貨騰貴の爲め對清貿
易頗る隆盛に赴き又米作の好望は大に地方の人氣を
引き資金の融通著しく増加し日歩も一厘六七厘見
當に引締る 九月に乃至は外國貿易は益々順
調に生糸の輸出は稀有り盛況に赴き且棉花の大輸入
に如く帳目旧盆即季に際しなれば金融は引締るに
模様あり 中旬以後は地方流出資金の回收多く
日歩も依然一厘五厘引下たり而して十月に乃至は外國貿
易は引締る輸出超過あり米作も愈々豐穰と確定

金融界は前途漸く多忙の季節に乃々拘る
日露問題は益々急調を示し、痛く経済社会の人心
を戦慄せしめ、各般の事業層一層不振に赴き
たる爲め益々資金の需要を減少し、追々歳末に近接す
るに拘り、金融は依然緩慢を持續し、市中金利は
尚一帯四厘を唱ふものあり、さるるを以て、月末より十一
月より概し新穀出現資金酒造税及冬物仕入に對す
る資金の需要ありしは市場は別段の影響あり、中
旬より多し綿子業者の破綻及酒造業者の困難等は
一時銀行界より一處に警戒を強くせしめたるの觀あり
り、然れども、極月を眼前に控へたるに拘り、金融は
前例にあり、緩慢を呈し、日歩は依然一帯五厘を普遍せし
起る、十一月乃々此の状況は容易に一変せしむるの

日本銀行

中旬以後より、道に大即季の事、経済資金の
需要頗る増加せし、みあらは、時局問題、愈々切迫を
告げたるは、各銀行共萬一を警戒し、特に三品市場に
拘り、定期満期の受渡頗る巨額に上りたるは、金融は
俄に繁忙に赴き、日歩は一帯五厘に暴騰し、乃々この末には
其の反動より一二月より、一帯七厘を示し、
大体無事平穩の間に越す。

以上記す所は、概して要するに、本年の金融は前
年未だ緩慢の趨勢を承け、市場は近年無比の閑散を
示し、即ち前年米作凶歉は痛く地方の人氣を
挫き、新春に入ると、各商人手控の傾向より、資金の需
要容易に起る、又市民の年來渴望せし、第五回
内國博覧會も、其の開會の結果は大に当初の豫

期多し一向市場の人氣を引立てるに至らず加之日露
 間に端々満洲問題を追次切迫を如く一般國民を
 一と益不安の念を高からしめ外國貿易の好況
 米作の豊饒と華僑の事業界の盛衰と人氣
 を興ふに由あり市場の閑散なる其の極度に達する
 左は金利の如き一年初の一厘七厘より次第に下落
 一後半よりは一厘五厘以下となり一一年末には時
 局の切迫と株式市場の動搖に伴い急に一厘八厘に
 騰貴し市場漸く緊縮を示す下轉を以て
 今般組合銀行營業成績は就き壹千圓以上壹萬圓
 未滿の貸付金利息歩合を算するは左の如く

表

一最高は一月の八合九厘四毛最低は三月の五合八厘四

日本銀行

毛とし前年比し最高最低平均共に低下し且年
 初より年終に向へ漸次低下するを見る

預金貸付金高及金銀在高の景況は左の如く

表

一送金手形荷替及割引手形の受拂は左の如く

表

一其受拂と合計すれば受入高三億千九百八十三萬
 九百五十二圓仕拂高四億四百一十一萬七千四百七十九圓差引
 八千四百二十八萬六千五百二十七圓の仕拂超過なり

又大阪手形交換所の手形小切手交換高を算するは左の
 如く

表

日本					前年				
最	高	最	低	平均	最	高	最	低	平均
一月	八四四	七六七	八二九	七九二	八四九	九四九	九六六	九六六	九六六
二月	八四三	七三〇	七九二	七七八	八四三	九二〇	九六七	九六七	九六七
三月	八三六	七三〇	七七八	七七八	八三六	九二〇	九五三	九五三	九五三
四月	八二九	六九四	七六七	七六七	八二九	八六九	九〇四	九〇四	九〇四
五月	八二九	六九四	七六七	七六七	八二九	八五八	九三四	九三四	九三四
六月	八〇三	六四六	七一二	七一二	八〇三	八八七	九四二	九四二	九四二
七月	八〇八	六一〇	七三〇	七三〇	八〇八	八六五	九二七	九二七	九二七
八月	八〇三	六六八	七三七	七三七	八〇三	八六五	九二七	九二七	九二七
九月	七五六	六二四	六八六	六八六	七五六	八四〇	八八七	八八七	八八七
十月	七六七	六五〇	七一五	七一五	七六七	七九六	八六五	八六五	八六五
十一月	七七八	六二四	七〇五	七〇五	七七八	七六七	八二一	八二一	八二一
十二月	八七六	五八四	六九四	六九四	八七六	七六三	八三六	八三六	八三六
全年	八一九	六六八	七四三	七四三	八一九	七六三	九二〇	九二〇	九二〇

日本銀行

本年					前年				
預	金	貸出金	金銀並高	預	金	貸出金	金銀並高	預	金
一月	七四七、九七〇	八九、七九六	六、九四九	七四七、九七〇	七四七、九七〇	八九、七九六	六、九四九	七四七、九七〇	八九、七九六
二月	七五、八二二	九、〇八八	八、六三三	七五、八二二	七五、八二二	九、〇八八	八、六三三	七五、八二二	九、〇八八
三月	七五、七九二	八、九五五	七、四九三	七五、七九二	七五、七九二	八、九五五	七、四九三	七五、七九二	八、九五五
四月	七五、三九六	九、五五〇	七、三四二	七五、三九六	七五、三九六	九、五五〇	七、三四二	七五、三九六	九、五五〇
五月	七六、九一五	八、二五五	八、六四八	七六、九一五	七六、九一五	八、二五五	八、六四八	七六、九一五	八、二五五
六月	七七、七三六	七、五五八	七、七九三	七七、七三六	七七、七三六	七、五五八	七、七九三	七七、七三六	七、五五八
七月	七八、八九九	八、六二二	七、八三六	七八、八九九	七八、八九九	八、六二二	七、八三六	七八、八九九	八、六二二

八月	七六、七〇、七三	八七、九二、七四	七、三六、八七二	六八、九一、八八	六、三九、六八三	五、四〇、三五九
九月	七九、四〇、六六	八七、九二、五三	八、五九、三八九	六九、七〇、八四三	五、三九、七五四	七、五九、一四九
十月	八〇、五三、二七〇	八六、二五、三三	八、七九、九二九	七〇、三九、四三六	八、四七、五三三	六、五三、四八六
十一月	七九、四〇、六七	八六、二五、四七一	八、六八、四六九	七〇、二〇、九五	八、六〇、八五四	六、三八、六九五
十二月	八〇、五三、六九	八七、九二、五三	七、五〇、二九二	七三、四二、三三	八、五三、八二	七、四八、六九五
平均	七六、六四、三二	八二、二六、九五	七、九四、五〇三	七六、四三、三〇	八二、五八、四六	六、五三、三四三

3, 1

送金

受入	仕年	受入	仕年
一月	一四、一〇、九二八	九、五九九、三四九	一九、二〇、七九八
二月	一四、〇八、八三九	一〇、一四、八七七	一〇、七五、九〇六
三月	一四、六二、三五六	一三、一五、八五四	一三、三四、三三九

日本銀行

四月	一三、三六、七五七	二八、五九、六一九	一三、〇八、一〇〇	二五、二二、三三二
五月	一四、八三、二五九	二二、三四、七五二	二二、七五、七〇七	二二、〇一、六七七
六月	一六、一〇、六二四	二五、七九、七八〇	二二、二九、六七五	二二、五五、二四一
七月	一四、二九、一三四	二二、六六、一七一	一三、九〇、五六〇	二二、八四、七三六
八月	二二、九〇、七三四	二六、五五、六七二	二二、九九、三八八	二四、八八、五五七
九月	一五、七〇、四七七	二二、五九、九六四	一三、七〇、五七二	二二、二四、六八一
十月	一五、六五、三四四	二五、二六、九二三	一五、一六、八九二	二六、四九、九九二
十一月	一四、三七、一〇一	二六、二五、七六〇	一三、〇六、四三七	二五、四三、七三五
十二月	一五、六七、一五四	三〇、二一、五八〇	一五、六〇、四六八	三一、一八、一五九
合計	一七五、六二、五三七	三〇七、五五、四二〇	一五三、四七、九七九	二八七、〇四、〇三三

3, 2

荷為替

本年		前年	
受入	仕拂	受入	仕拂
一月 二、八七九、二一六	一、六七一、〇〇四	一、四二三、九三二	一、〇一二、一二四
二月 二、九一九、九〇〇	二、六五五、一二〇	一、六九六、九二九	一、五四六、八一五
三月 二、七一四、六六二	二、七〇八、二〇五	一、八七五、五六四	一、二五三、〇七六
四月 二、二七三、五〇八	一、五一五、二一三	一、九五八、〇九五	九〇五、七六二
五月 二、五〇六、一一二	一、六七四、六七五	一、九五七、三五一	七九五、二三八
六月 三、三三三、六二一	一、五〇三、〇四二	二、二〇六、六一八	九三六、一一二
七月 二、一六三、一五八	一、五六〇、八四四	二、五三二、七九二	一、一四三、六二七
八月 二、四三六、一八九	一、六〇七、五三八	一、九〇九、九〇九	一、三〇一、九六八
九月 二、一九八、一六五	一、九一六、九九二	一、六〇三、六七六	一、六一一、八四二
十月 二、七一一、七四二	一、五九六、五四五	二、八一九、三三八	二、〇〇一、七三四
十一月 二、九四四、三七九	二、一九九、八二一	二、五七五、七九一	一、五六七、七二四
十二月 三、二九二、三九三	二、三三五、九一二	三、五〇〇、五〇〇	二、二九二、五七三
合計 三、三六九、〇四五	三、二九四、四九一	二、六〇五、四九五	一、六三六、五九五

日本銀行

3, 3

割引

本年		前年	
受入	仕拂	受入	仕拂
一月 八、〇一七、一九三	五、八九一、一三九	六、八五四、八七〇	三、七一九、三八二
二月 九、四七九、五三六	五、五一一、三〇〇	七、三三五、二二五	三、七六二、七〇七
三月 九、六九三、九二一	五、二二四、三三三	七、五〇二、〇三六	四、四六九、六四八
四月 九、二一九、六六八	五、五〇三、〇六三	八、七八二、〇一一	五、二二四、三三一
五月 八、七四四、〇八七	五、二八四、六七九	七、七九一、八二五	四、六三三、六七三
六月 八、七八三、三三五	五、七〇四、七九一	八、一〇一、〇四二	四、三三四、七三六
七月 八、八二六、四三〇	六、九六九、九一八	七、八九一、三〇九	五、四一四、五九八

八月	八、六五五、七七一	六、一九四、三三五	八、一〇六、〇六〇	四、九七八、六三九
九月	八、九六八、八七六	六、二八一、六三三	七、五三三、三六三	四、七五〇、七九一
十月	一〇、〇七一、五二一	七、六二六、三三九	八、八七八、三九四	五、四〇九、九二八
十一月	一〇、一六四、五七三	六、三二五、五〇一	九、〇九三、二五八	五、八四五、六三三
十二月	一三、三三一、六四九	七、二〇六、三二二	九、七九九、五〇八	六、八一九、〇六三
合計	二二、八四六、五四〇	七三、六〇八、三六二	九七、七一七、七〇一	五九、三三三、二一九

4

	本	年	前	年
一月	五七、三九〇、八六〇	四七、六四八、一一八		
二月	六五、二〇一、二八四	四五、四八六、四七四		
三月	七六、二五七、二四九	五四、五四五、九六六		

日本銀行

四月	七〇、二三二、九三九	五四、三四三、二二四		
五月	六一、七七一、四五七	五〇、六五二、九四〇		
六月	六五、一二一、六二七	五一、五七九、二四八		
七月	六七、四八四、九四二	五七、八七七、五一〇		
八月	六四、八一六、五七五	五六、四七六、一〇六		
九月	六八、〇六三、四四九	五八、四〇〇、〇四四		
十月	七三、八六七、二九三	六一、九〇七、四八九		
十一月	六九、二九二、八五六	六〇、五七三、七五〇		
十二月	八一、七八六、五四一	六九、六三四、九二七		
合計	八二一、二八七、〇七二	六六九、一二五、七九六		

第三節 各地

本年中各地方金利歩合を表記するは左に如し

一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月											
北海道地方											
最高	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
最低	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
奥羽地方											
最高	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
最低	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
關東地方											
最高	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
最低	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三

日本銀行

北國地方											
最高	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
最低	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
東海道及中山道地方											
最高	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
最低	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
上方地方											
最高	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
最低	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
中國地方											
最高	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
最低	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三

以前表各地方屈指の銀行に於けり上下兩半期末預
 金貸出金と表記を收は左り如し

日本銀行

六月		十月	
預金	貸出金	預金	貸出金
北海道地方	六五三八、八四三	八、一七、九九三	八、一三九、六五九
奥羽地方	一、五三七、三五五	一、五、三八四、八六五	二、八八三、二五三
關東地方	一九四、二六七、三三七	一、六、九三四、〇三四	二〇、六七四、四三四
北國地方	一、三三八、七七七	一、七、一九九、七六五	一、〇、四三八、一四九
東海地方及中 道地方	三、五五、三三八	四、四、六五八、五九	三、四、四〇一、〇六三
上方地方	一、三〇、九七、八四七	一、四、三三三、一九九	一、三、一四八、六九四
中國地方	一、六、三六八、四六六	一、五、九五五、七五三	一、六、一七九、一九二
四國地方	八、五九三、九一五	五、七四二、九六七	八、六八九、九一九
九州地方	一、五、三九五、一三二	一、九、三六六、六三九	一、五、〇八五、八三七
沖繩地方	六、四、六四九	一、三、四、〇三五	八、九、三六〇
合計	四、四、六八七、六四八	四、五、七、五三三、三〇八	四、三、七、七三九、五四〇
			四、八、七、七二八、〇一八

四國地方	最低	三	三	九	九	五	五	五	五	七	六
	平均	一五	一四	一三	一三	一三	一三	一三	一三	九	九
	最高	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
九州地方	最低	〇	〇	七	七	九	九	五	五	五	五
	平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
	最高	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
沖繩地方	最低	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	平均	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
	最高	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
全國平均	最低	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	平均	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
	最高	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五

第四章 商業

第一節 一般商況

本年は春季に於て外國貿易の順境及金利下落の結果一般の景氣を挽回し商況亦漸次活氣を呈すしと豫想ありしも事實は之に及し前年米作の凶歉は痛く地方の人氣を挫き新春に入るとも商況は一向振興するの模様あり其の後製茶養蚕は非常の好結果を收め麦作の不良ありしも秋季に於ける米作は大に豊饒を告げたるに拘らず商品市場の氣勢更に揚らず人氣は寧ろ消沈萎縮するのみありは是れ全く満ち問題の風雲兎角不穩にして一般の人心も絶えず不安の念を懷かしめたるに因りしとす而して

日本銀行

今又諸物價に就て之を觀るに春來商勢の不振ふるに係らず次第に騰貴する物價は四月に至り少く下落の傾向ありたるは下半季に入り漸次恢復し來り概して前年より幾分の優勢を示したる左れと其の賣行の如きは略前年と等しく季節需要品を除くの外は概ね不振を極め年々経過せず即ち本年中商況一般に就き逐次摘記すれば左の如し

昨年来引續き不景氣ありし商況は新年に入りて幾分は多少景氣付たるを觀る殊に正米市場は初市以來非常の盛況を呈し二月に入ると其の賣行益々良好ありしか其の他の物品に至るとは綿糸烟草等の需要品稍好況を持續したる

外一向捗々しき活動を見たり。三月より四月に入り
正米は較々人氣の沈靜を來せし、其賣行は頗る活
潑なり。春來の大多數に達せしか正米を除くの外
一般の商況は依然として伸力あり、今や夏物取引の
時期ありとも拘らば人氣甚しく消沈せり。五月に入
りては正米も形勢一変賣行大に減退し、而して
満洲問題は漸く不穩の徴候あり、みおらす天候
兎角不順なり。農蚕被害の噂高き、為め折角
の夏物仕入も当用小口の需要の外格別目立ちたる取
引を見ざるに至る。商況一層沈鬱せり。六月に乃ち麦作
は愈々甚しき不結果にたり。一般商工業の萎靡不振
と共に諸商品の荷動更に捗々しうす。唯綿糸砂糖
肥料等二三の僅少なり。賣行ありしのみ。斯くて下年

日本銀行

季に乃ち天候の不順と外交問題は痛く人氣を阻
害し、季節品中三の好況を示す外一般は益々不景
氣見送り姿ありしか。八月よりは天候漸く適順に復し
各地到了處豊作の呼聲高く従て米價は漸次低落
し加之に夏秋蚕の如きは稀なり。好結果を収め且
外國貿易は愈々順勢を示し、金融は益々緩慢なり。
時帳より益々季節の際、なほは商況は漸く衰運を挽
回して幾分恢復の兆候を見けり。商品の荷動稍増加
せり。傾あり。砂糖肥料烟草は特に好況なり。其他の
ものも漸次好順に向なり。九月より十月に掛けて米作
の経過は良好なり。秋穫の豊饒愈々疑なき事
實なり。地方婦一般の人氣漸く引立ち、貨物の賣行
益々活氣を添へ、荷動も漸次多きを致さん。状態なり。

折柄會、外交問題は益々急調を呈し、痛く社會
の人心を戦慄せしむ。従て各般の事業層一層不振
に赴き一時立直り模様ありし高況も茲に一頓挫を来
した。十一月乃至砂糖石油等稍好況を現し、其
他幾分好氣配を示せるものありき、然るに市場の
大勢は引續き不況不振に陥り、正米の如き賣行著しく
減退し、春米の盛況全く一変した。斯く極度に
乃至し一般商界は益々窮乏を極め、高況は依然と
萎靡沈衰臺に沈氣あり、唯外交氣拂ひて雜穀市
場殊に大賣り暴騰を呈せしと原料騰貴の爲め綿糸
等の活動せし外例の季節品の賣行多少之ありしに
過ぎず。正米市場の如き亦賣行不振を示した。

第二節 株式

本年株式市場ノ景況ハ年初幾分好調ヲ呈シタル^{モ爾後}大
 抵ト氣迷不振ノ狀態ヲ以テ終リタルモノト謂フ可シ
 蓋シ一般經濟界ノ大勢有望ニシテ且ツ市場人心ノ
 最も熱望シタル限月復舊ノ問題ハ四月ニ至リテ取
 引ノ開始ト共ニ一先解決セラルタルノミナラス金融市場
 ハ全年ヲ通シテ常ニ緩慢ノ狀態ヲ持續シ上半年ニ在
 リテハ天候不良ニシテ農作ノ懸念ヨリ期米騰貴ヲ見タ
 ルモ下半期ニ入りテハ天候通順ニシテ米作豊穰ヲ告ケ
 期米ヨリ低落シ加フルニ定期限月ノ復舊ヲ見タル等周
 回ノ事情悉ク強氣ノ好材料タラサルモノナカリシト雖モ奈
 何セシ四月中旬ヨリ滿州問題ニ関シ一度日露兩國間ニ
 交渉ノ端ヲ開クヤ市場ノ人心ヲ刺戟スルコト特ニ甚シク

日本銀行

今チ氣迷ノ状ヲ呈シ^{東京}市場ハ外交ノ風説ニ隨ヒ一進一退
 シ日ヲ經ルニ從ヒ益シ不振ノ成行ヲ示シ十一月以後特ニ
 變調ニ陥リタルモノ如シ當時兩國折衝ノ問題ハ稍平
 和終局ノ微^機ヲ為メニ市場ハ一時活氣ヲ呈シ諸株ノ相
 場著シク騰貴シ東京株式株ノ如キ百九拾圓臺ニ騰
 シ未曾有ノ高直ヲ呈シタルモ該問題ハ終ニ解決シ見ルニ
 至ラス越シ十二月ニ至リテハ風雲一掃ノ怪キヲ加ヘ年末ニ
 際シ遂ニ大暴落ヲ呈スノ不幸ヲ見タリ今東京及大阪
 兩取引所ニ於ケル連月ノ景況ヲ概記スレハ左ノ如シ

東京

一月ハ金融緩慢ニシテ金利低落ノ傾ヲ示シ殊ニ株式
 界ノ輿望タル限月復舊ノ問題ハ遠カラス解決セラルベ

レトノ説頻ナリシカバ設會以來相場次第ニ昇進セシ
カ中旬ニ至リ巷説匡々到底談復舊ノ覺束ナキヲ傳
ヘ為メ人氣挫折シタルモ一般經濟界ノ形勢有望ナル
為ノ高持今裡ニ納會セリ二月ニ入りテハ多少限月復舊
ノ待草卧ニテ氣乘薄ノ状ヲ呈シ中旬以後幾分昂騰
ノ趨勢ヲ示セシモ三月ニ至リテハ相場常ニ中區域ノ間
ヲ高低シ市場ハ遂ニ氣迷不振ノ姿ヲ呈スルニ至リ然ル
ニ久シク諸説紛々市場ノ問題タリレ限月復舊ハ四月
七日ニ至リ^{農務省}令第三号ヲ以テ一先ツ解決セラレタルノ
ミナラス金融ハ引續キ緩慢ニシテ生糸ノ賣行頗ル
好況ナリシカバ形勢頻ニ一變シ大ニ活氣ヲ呈セシトセシモ
偶ニ天候不順ニシテ麦作不良ノ懸念ヲ生シ加フルニ新令
ニヨレル迄取引ノ實行如何等種々氣槽ハ甫ヒ市場ヲシ

日本銀行

テ不況ナラシメシ際端ナリモ滿州撤兵事件ニ関シ日露
ノ交渉ノ開クニ至リ外交不穩ノ噂巷間ニ傳ヘシ左ナキ
如ニ不振ノ市場ハ日ヲ逐フニ相場益々低落シ殆ト底止
スル所ヲ知ラサリハ五六月間天候陰惡ニシテ農作不
良ノ懸念ヨリ期米ハ騰貴ヲ来シ割ヘ外交ノ成行ハ
一時開戦ノ避ク可ラサルヲ^{風説}播傳セシカハ銷沈せん人氣
益々萎縮シテ始終不振ノ状ヲ呈セリ然ルニ六月下旬
リ天候漸ク順ニ復シ期米ハ低落シ外交難ノ噂ハ
次第ニ薄ニキ市場ノ形勢一變セシモ大勢尚機會待
ノ状ヲ脱スルコト能ハサリキ株式界ノ上半期ハ斯ノ如ク
レテ経過セリ終テ下半期ニ入りテハ金節季ノ為ノ金
融ハ一時繁忙ヲ呈セシモ大勢ハ依然トシテ緩和ノ狀態ヲ持
續シ生糸ノ賣行亦好調ナリシモ滿州問題ハ容易ニ解決

ヲ見ルニ至ラス遂ニ内閣動搖ノ風説ヲ傳ヘ市場ハ常ニ手
裡ノ姿ヲ示セリ其後内閣ノ變動ハ二三大臣ノ交迭ニ止リ
一方ニハ天候通順ニシテ米穀豐穰ノ報頻リニ到リ特定
期取引ノ限月ハ八月十五日勅令第廿七号ヲ以テ愈後
舊セラルルモ同時ニ近取引先物ノ賣買ヲ見令々々爲ソ
一般ニ定期十一限ヲ待ツモノ如ク閑散不振ノ状ヲ呈セリ九
月以後總テ強氣ノ材料多クニ拍々對露問題ノ人
心ヲ刺戟スルコト極メテ強ク市場ハ殆ト談話問題ノ一進
一退始終氣迷ノ状ヲ呈シ諸株ノ昂低常ナカリシカ十
一月ニ至リ日露協商平和終局ノ兆アリトテ一時人氣
引立ち来リ相場ハ騰貴シテ近頃稀有ノ活況ヲ呈シタ
リ然レモ外交ノ前途尚測ル可ウサルモノアルヨリ市場利拔
キヲ試ミルモノ多ク月末ニ向フニ隨ヒ漸ク寂寥ヲ呈シ
十二月ニ至リテ帝國議會ハ解散セラレ同時ニ日露協商
ノ成立ヲ豫想スルモノアリ諸株ノ相場一時引戻セシモ爾
後露國ノ態度頗ル硬強ニシテ我政府ノ要求ノ容
ル所ト爲ラズ風雲轉々急テ告ゲ旦ツ年末ニ際シ金融
稍引締リシカハ氣配頻ニ挫折シテ月末ニハ非常ノ暴落
ヲ呈シ以テ納會ヲ告ゲタリ

日本銀行

大阪

客年六月取引所規則改正以來市場ハ久シク萎靡
不振ヲ極メタルモ舊臘ニ至リ限月ノ復舊好望ヲ
傳ヘシヨリ新年市場ハ稍活氣ヲ呈シ加之金融ハ逐日緩
慢ニ傾キ生糸ノ賣行亦好況ナリレヲ以テ人氣益々強硬ト
爲リシカ二月ニ入ルモ尚限月ノ復舊ヲ見サリシカハ市場尅

角伸力ナク諸株ハ常ニ小區域ノ間ニ来往スルノ中旬以後
幾分好況ヲ呈シタルモ三月ノ市場ハ案外不引立ニ漸次
氣崩ト爲リ時機待見送リノ状ヲ呈セリ然ルニ四月ニ至リ
テ限月問題ノ解決ハ一變シテ定取引ノ開始ト爲リ稍
市場ノ人氣多ク回復シタルモ尚ソ實行難ノ點アルノミナ
天候不順ニシテ麥作懸念ノ声高ク加之滿州問題ナルモ
起リテ外交ノ風雲穩々トス場面ハ乍ラ恐怖心驅ラレ
テ諸株ノ大瓦落ヲ来セリ終ニ其反動爲五月中稍安
配立直リノ氣味アリシモ始終外交ノ風説ニ左右セリ殆
ト氣迷ノ裡ニ經過シ六月ニ入りテハ金融益々緩慢ニシテ各
銀行間ニハ預金利子引下ケノ議アルノミナ近取引モ
愈々本月十日ヲ以テ實施セラルルニ案外氣乗薄ク一方
ニハ對露問題不穩ノ状アルヨリ益々不味ノ場面ト爲リ

日本銀行

七月中ノ如キ殆ト沈睡ノ状ヲ呈シ小高下ノ中ニ日々僅サノ
賣買アリシニ過キス八月ニ至リテ定期限月ハ愈々復旧
セリ天候ハ引續キ適順ニシテ米作豊穰ノ見込確カニ
金融亦緩慢ナリシモ時局ニ對スル戒心深ク依然トシテ
氣迷ノ姿ヲ脱スル能フナリキ九月ニ入り限月復旧ノ結
果愈々定期十一月限ヲ開始シタルモ更ニ人氣ノ回復見
ス十月中内閣ノ一部又々交迭シ時局ニ関スル風説區々ニシテ
相場ノ昂低常ナリ依然氣迷沈靜ノ状ヲ極メタリ十一月ニ至
リ久シク市場ヲ恐怖セシメタル日露交渉ハ稍平和解決ノ
徴ヲ現セシメ以テ人氣一轉シテ頗ル活氣ヲ呈シ阪神電氣
大阪電燈、諸鐵道株ノ如キ一時暴騰ヲ呈セシモ該間
題ハ終ニ解決ヲ見ルニ至ラス十二月又ウケハ諸株漸ク行
動ニ安ク現ハレ露國ノ態度亦頗ル強硬ニシテ外交

ノ危機日、切迫セルモノ、如ク艦隊ノ行動軍隊需要品ノ
買入等事實ノ上ニ懸レ来リレシ以テ市場俄然トシテ
大暴落ヲ呈レ前途不安ノ形勢ヲ以テ越年セリ
今年中東京及大阪両市場ニ於ケル連月ノ賣買出来
高ヲ舉レハ左ノ如シ

(一) 東京表

(二) 大阪表

更ニ本年中諸公債証書各種債券株券等ノ市價
格ノ変動如何ヲ觀レカ爲メ其重ナルモノニ就テ直取引
ノ高低及平均ヲ表記スレハ左ノ如シ

(三) 表

九月	十月	十一月	十二月	合計
四七、三二五 五七、六一一	一〇、〇七九 二、三三九	一四、七九九	一八、二一四	一、四八四、一三五 二、六七、二三一
九三、〇三〇	二〇、九一六	七一、二六〇	九八、九五七	二、一一九、三六三

日本銀行

(三)

整理公債														海軍公債														軍用公債														五利公債														東京市債														大阪市債														京都市債														大藏省証券														日本郵船証券														九州鐵道株式														日本鐵道株式														山陽鐵道株式														九州鐵道株式														炭礦鐵道株式														關西鐵道株式														參宮鐵道株式														甲武鐵道株式														川越鐵道株式														播但鐵道株式														南海鐵道株式														讚岐鐵道株式														房總鐵道株式														總武鐵道株式														成田鐵道株式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇														一〇〇〇																											

東京電報通株	五〇〇	一五〇	八〇	一〇七七	五〇	一九〇	一七五	一五八
東京市街鐵道株	五〇〇	一六四〇	七二〇	一一二二	一	一	一	一
日本郵船株	五〇〇	八六五〇	七七七	八三三五	五〇	八三六〇	七三〇	七八五三
大阪商船株	二五〇	三〇三〇	三五〇	二八四〇	二五〇	二八七〇	二二八〇	二五七〇
東洋汽船株	二五〇	二四五〇	二一〇	二一八六	二五〇	二三〇	二〇〇	二二五二
鐘淵紡績株	五〇〇	四四八〇	三七〇	四一〇六	五〇	五二〇	三三〇	四二一二
東京紡績株	五〇〇	三六七〇	元	三二二三	五〇	四三〇	三三〇	三六八八
東電燈株	五〇〇	一四〇	六四〇	七八六九	五〇	六四〇	四六〇	五三七六
東京瓦斯株	五〇〇	一〇五八〇	七七〇	八五三五	五〇	九〇	七三〇	九〇
富士製紙株	五〇〇	四七六〇	三八〇	四一九〇	五〇	四六〇	三八〇	四三〇六
日本麥酒株	五〇〇	一九〇	九七五	一七七九	五〇	一一三〇	九〇	九七九六
日本セメント株	二五〇	六〇	四五〇	五五二	二五〇	八五〇	五五〇	七〇六
東京株式株	五〇〇	一九四〇	一五〇	一七三〇	五〇	三五〇	一四〇	一五六三
東京米穀株	五〇〇	一五〇	一三七〇	一四八〇	五〇	一五〇	一三〇	一三三二
東京南品株	二五〇	五七五〇	三七〇	四五四〇	二五〇	六一〇	三八〇	四六六七
帝國海陸陸株	五〇〇	文四〇	三八〇	四三二六	五〇	四〇	三二〇	三九六二
正金銀行株	一〇〇	一九五五〇	七五五〇	一八二二	一〇〇	一八二五〇	一五四〇	一五三一
南商銀行株	三五〇	三〇三〇	三五〇	二七八一	三五〇	三一〇	二四〇	二七一六
日本銀行株	二〇〇	四二五〇	三六五〇	四六六九	二〇〇	四四〇	三八五〇	三九三三
早勸業銀行株	七五〇	一七〇	一〇五〇	一七三五	七五〇	一〇二〇	六三〇	七三五四

日本銀行

第三節 米況

本年米穀市場ノ狀況ヲ察スルニ前年ト殆ト正反對ノ成績ヲ現セリ蓋シ昨年ニ在リテハ一昨年豐作ノ後ヲ受ケ前半期ハ殆ト不味沈靜ノ狀態ナリレカ後半期ニ至リテ天候不良ニシテ各地ノ被害少カラス米作頗ル不良ナリレカバ市場ノ人氣一轉シテ乍々治復ノ高狀ヲ呈シ好況ノ禪ニ越年セリ然ルニ本年ハ前年不作ノ後ト云ヒ殊ニ上半期ハ天候兎角不順ニシテ麦作不良ノ懸念アリ加ルニ四月中旬ニ至リ端々滿州問題ニ關シ外交不穩ノ警報アリ爲ニ人氣ヲ刺戟シテ一層治氣ヲ呈セシモ下半期ニ入り天候良好ニシテ米作豐穰ヲ告ケレカバ大勢一變シテ軟弱ニ傾ケリ唯年末ニ迫リテ一部備入不足ノ声アリシト外交再ヒ不穩ノ形勢ヲ示セシテ以テ稍治氣ヲ呈セシニ過キム今東西兩市場ニ於ケル高狀ヲ概述スレハ左ノ如シ

日本銀行

東京市場

年初天候溫暖ニ過キ早ク既ニ麦作ノ懸念ヲ生シ各地一般ニ定期正米ノ別々高報ヲ傳ヘ外米亦騰貴を著強氣ノ材料多カリレ爲ノ市場益々好氣配ト爲リ二月ニ入りテ更ニ一段ノ好況ヲ呈シ月初二回ノ降雪ハ幾分人氣ヲ緩和セシメタルモ正米、依然トシテ高直ヲ維持シ且ツ北國筋助ノ買付アリシ爲ノ累日昇騰シ年初拾四圓臺ニアリシ相場ハ乍々拾五圓台ニ飛騰シ三月ニ入りテ更ニ拾五圓九十九錢ノ高直ニ進ミシニ反動ノ爲メ俄然暴落ヲ呈ス而シテ正米ノ賣行依然好況ニシテ市中在米

減少ノ爲メ氣勢再び回復シ四月中旬滿州問題ニ関シ外
交不穩ノ入電ハ天候ノ不順ト共ニ痛ク人心ヲ刺戟シ五月中
ノ如ク人氣ノ消長特ニ甚シク相場場ハ急劇ノ變化ヲ呈シ
蓋シ當時外國米ノ輸入多カリシモ累日天候不良麦作懸念
アリ各地一鉢、高報ヲ傳ヘ益昂騰シテ最高拾六圓四錢ニ
達シ三十一年以來ノ珍直ノ現キ偶高直ノ反動ハ俄然トシテ
暴落ヲ呈シ且天候次第ニ回復シ麦作見直シノ声高ク
先安ヲ見越シテ漸次低落シ回來ノ増加ト正米ノ不勢トハ
更ニ人氣ヲ挫折シ外文ノ汎説天候ノ影響等時々多少
ノ氣勢ヲ高メシメ大勢ハ累日低落ノ一方ニ傾キ六月末日
ニ至リテ再び拾四圓臺ニ暴落セリ七月に入りテ前月暴
落ノ後ヲ受ケ且天候良好各地安報ヲ傳ヘシメ天災時季
ノ事ハ^{又懸念}多少ノ高低ヲ免レガヤ然ルニ土用^半天候尚ソ

日本銀行

得全國ノ稻作稀有ノ良好ヲ示シ大勢既ニ豐穰ヲ觀取
セシカハ八月中ノ如ク殆ト低落ノ一方ニシテ月末ニ終ニ拾貳
圓三錢ノ低直ヲ見リ而後八朔而厄日等無事ニ經過レ秋
天中分ナリ豐作ノ見込確ニ至リ益シ低落シテ市況拾壹
圓四錢ニ保合ヒ九十兩月ニ亘リ人氣沮喪シテ市場概シテ靜
穩ニ経過セリ十一月中旬以後地方々錦入不足ヲ唱ヘ稍賣
惜ノ狀ヲ呈シ回來減少セシテ久シク持合居ル相場ハ茲
ニ騰貴ノ動機ヲ呈セリ年末ニ至リテハ回來漸ク多ク相
應ノ入津ヲ見タルモ尚豫想ノ額ニ達スルニ至ラス在米ハ却
テ減少ノ姿アルノミナラス各地一鉢、高報ヲ傳ヘ外交
ハ愈ニ不穩ノ形勢ヲ示シタルヲ以テ引續キ昇騰ノ勢ヲ呈
シ而シ哈爾濱ニ騰貴シ以テ本年ノ納會ヲ告ゲタリ

大阪市場

穀會以來向狀活潑ニシテ相場モ拾參圓以上ノ高直ヲ示
シ殊ニ大寒ノ氣候意外ニ温暖ニシテ將來麦作ノ懸念
アリテ以テ先高ノ念驅ラレ二月ニ入りテ益々昇騰シ終ニ拾
五圓臺ニ上リ三月ニ入ルモ引續リ騰貴ノ勢アリレカ偶々
渡ニ外國米代用ノ風説アリ横濱ノ如キ多額ノ輸入ヲ見
シカハ人氣一頓挫ク來レ且ツ前來高直反動ノ為ノ暴落
ヲ呈マリ而モ彼岸入ノ天候不良ニシテ尚麥作ノ懸念
アリレカ為ノ春相場トシテハ兎ニ角活潑ノ高直トシテ失
ハズ四月中旬滿州問題ニ關レ一度外交不穩ノ風評傳
ルヤ東京市場ノ引締ト共ニ俄然沸騰ヲ呈シ五月ニ入りテ
ハ麥作案ジト滿州問題ト相待リ人氣頗ル活潑ナリレカ
其後天候ノ回復ト共ニ商勢一轉シテ氣崩ト為リ六月中

日本銀行

如キ新古端境ニ際スルモ市況概シテ不勢ニシテ且ツ滿州問題モ
著ク切迫ノ模様ナキト天候順當ノ為ノ漸次底落ヲ示シ
七月以後梅雨ノ天候好順ニシテ農家ノ如キモ前途ノ見
越シテ圓米ノ賣急キヲ為シ各地齊ク崩落ヲ傳ヘシカハ俄
然暴落ヲ呈シ之ヲ為ノ買方ニ對シ一時巨額ノ追証據金ヲ
徴收スルノ止ヲ得サレニ至リ市場ハ帳簿整理ノ為ノ八月
廿四日臨時休業ヲ為シ開市後モ尚氣崩ノ狀ヲ持續セリ
九月ニ入りテハ豐作ノ見越シテ人氣益々軟弱ト為レリ偶ニ西
國筋ノ騰貴ト北國虫害ノ為ノ一時昇騰セシモ二百十日二
百廿日モ無事ニ經過シ大体豐作ノ事實確立セシカハ
九十兩月ノ如キ人氣益々軟弱ニ傾キ最低呼直ハ拾圓臺
ニ低下シ市場ヲ以テ終レリ如斯市場寂寥ニシテ殆ト沈
靜ク極メシカハ十一月中仲買人ハ總會ヲ開キテ市場振

興策ヲ講スルノ姿ト爲レリ偶々中旬ニ至リ農家ハ高直覺
ニ兎角賣漲リノ傾ヲ生シ回米ハ季節柄ニ拍入ノ案外僅クト
爲リ正米ノ市況引締リ呈シ且ツ籾入不足ノ風説等ハ著シク
氣配ヲ強メ形勢茲に一變シテ拾壹圓七拾七錢ノ高直ヲ
呈シ十二月々初ノ如ク稍ハ高ク安シモ各地ノ大勢ハ一齊ニ下
落ヲ報シテ再一頓挫セリ然ルニ當時正米ハ尚好調ヲ維持
シ月末ニ至リテ外交ノ風雲愈急ヲ告グルニ至リ俄然拾
貳圓壹、飛騰シ前途高氣配ヲ以テ越年セリ

今東京大阪兩取引所ニ於ケル定期取引ノ景況ヲ舉ゲ
テ前年ト比較スレハ左ノ如シ

東京 表 (一)

大阪 表 (二)

日本 銀行

又定期米相場ノ高低ヲ詳ニセシカ爲メ其先物相場ニ就
キ各月、最高、最低及平均ヲ舉シテ左ノ如シ

東京 表 (三)

大阪 表 (四)

更ニ東西兩地ニ於ケル正米相場ノ舉ケテ前年ニ比較ス
レハ左ノ如シ

東京 表 (五)

大阪 表 (六)

又本年中正米ノ景況如何ヲ觀シテ爲メ東京、澤川、倉庫在
米高ヲ表記シテ前年ト對比スレハ左ノ如シ

澤川在米高表 (七)

東京米穀取引所賣買石數

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
本	年	前	年	前	年	前	年	前	年	前	年	前
九九二、五〇石	八〇五、四五〇石	二〇一、三〇〇	八二〇、三五〇	九五五、五五〇	一、六四六、四〇〇	一、八七八、四五〇	二、六〇一、四五〇	三、一〇五、九五〇	二、一五三、二五〇	一、九七七、一五〇	一、〇八二、三〇〇	八二〇、三〇〇
九、四三八、四〇〇	一、九五四、七〇〇	一、五八八、九〇〇	一、八七七、七〇〇	一、三四〇、一〇〇	二、〇六四、九〇〇	一、九九九、二五〇	二、一〇一、五〇〇	一、三一八、六〇〇	九、九八、六五〇	一、三四四、九五〇	一九、〇一九、七〇〇	一九、〇一九、七〇〇

日本銀行

同上大阪

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月
本	年	前	年	前	年	前	年
三、九六、一五〇石	三、八〇、五五〇石	四、二九、三五〇	三、四三、五五〇	三、九三、三一〇	六、五二、五九〇	六、五一、七五〇	八、〇二、二四〇
六、三二、八三〇	六、三二、八三〇	六、三二、八三〇	六、三二、八三〇	六、三二、八三〇	六、三二、八三〇	六、三二、八三〇	六、三二、八三〇

(四)

同 上 大 阪			
二 月	一 月	最 本	
		高	低
一五〇三〇	一四二四〇	一四三〇	一四三〇
平 均			
一四六七三	一四〇〇二	最 前	
		高	低
一一三九〇	一〇九四〇	一〇四七〇	一〇四七〇
平 均			
一〇八九九	一〇七二一		

大 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	全 年
一五四七〇	一四六三〇	一三六一〇	一二九五〇	一二六六〇	一二九六〇	一二四七〇	一五九六〇
一五〇三〇	一四一〇〇	一二三九〇	一二四六〇	一二三四〇	一二〇〇〇	一一九二〇	一一三四〇
一五二八四	一四三五一	一三〇八七	一二六五〇	一二四九四	一二六四一	一二二二一	一三七九五
一三三三〇	一三七四〇	一四七七〇	一三九二〇	一四六三〇	一四三二〇	一四三二〇	一四七七〇
一二六八〇	一二八八〇	一二六八〇	一三一三〇	一三八五〇	一三九七〇	一三九五〇	一〇八四〇
一二九七七	一三二四六	一三七七六	一三五四六	一四一三五	一四一六〇	一四一四一	一二七二六

日 本 銀 行

(三)

一 月	二 月	三 月	四 月	五 月
一四八三〇	一五七二〇	一五八九〇	一五四二〇	一五九六〇
一四〇九〇	一五〇八〇	一四八三〇	一四八九〇	一五三七〇
一四五一四	一五二一四	一五二七二	一五一九七	一五七一〇
一一二六〇	一一六〇〇	一一三三〇	一一七二〇	一二六四〇
一〇八四〇	一一〇〇〇	一一〇四〇	一一〇九〇	一二〇九〇
一一〇七九	一一二七九	一一一七四	一一三一〇	一二二七四

東京定期米相場 (先物)

九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	合 計
七五二二六〇	五八八八〇〇	三七六四五〇	五一八四〇〇	七、一三、五八〇
六九三二五〇	七五七、四一〇	四六四二五〇	四一二八二〇	六、九七、八四七〇

(3)

東京正米市場

日本銀行

本年										前年									
最高										最高									
最低										最低									
平均										平均									
一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
一四九三〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二
一四九三〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二
一四九三〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二
一四九三〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二
一四九三〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二
一四九三〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二
一四九三〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二
一四九三〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一五三九〇	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二	一四三九二

三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
一五二八〇	一四九八〇	一五五二〇	一五〇七〇	一四三七〇	一三三九〇	一三六七〇	一四〇四〇	一四〇四〇	一四〇四〇	一五五二〇
一四一六〇	一四四六〇	一四八二〇	一四七二〇	一三八八〇	一二〇三〇	一一〇九〇	一一〇九〇	一一一九〇	一二八二〇	一〇九九〇
一四六〇二	一四七三三	一五二六六	一四八九八	一四〇四三	一二八五一	一二三〇八	一二一九〇	一二三九三	一二九八一	一三四一〇
一〇九七〇	一一三五〇	一二三四〇	一二一五〇	一三四五〇	一三九一〇	一二九七〇	一三四六〇	一三五五〇	一三六九〇	一三九一〇
一〇七二〇	一〇五九〇	一一六九〇	一二四九〇	一二七八〇	一二三三〇	一二五一〇	一二八一〇	一三一八〇	一三三三〇	一〇四一〇
一〇八〇二	一〇八四八	一二〇六六	一二七六一	一三一四三	一三〇九一	一二六九二	一三一八	一三三七三	一三五三七	一二二五四

(七)

十二月	一三八二〇	一二五〇〇	一二五九二	一四四九〇	一四〇九〇	一四三四〇
金 年	一六一三〇	一二五〇〇	一四四二五	一五六三〇	一〇五三〇	一二六四七

同
上
大
阪

[illegible]

日本銀行

九年	一三九〇	一三五〇	一三七七五	一三三〇	一二六〇	一三〇四人
十月	一三八〇	一三二〇	一三四五六	一三一〇	一二八〇	一三〇四三
十一月	一二一〇	一一八〇	一二八七五	一三三〇	一三一〇	一三二四人
十二月	一二五〇	一二三〇	一二三八二	一三四〇	一三三〇	一三三四大
全年	一五一〇	一一八〇	一三九七三	一四〇〇	一〇〇〇	一二二大九

東京深川倉庫在米高（康）

	最多	最少	平均	最多	最少	平均
一月	一〇五五、六三五 _係	七六二〇、二三 _係	九三三、七七五 _係	二六四、六七四 _係	二二一、一一人 _係	二三四、四五文 _係
二月	一〇九六、三三七	九九二、一四三	一〇五五、八三一	三一、一九九	二五五、九五五	二八〇、四〇六
三月	一〇〇〇、九三五	八二五、四三八	九二二、〇四二	三〇六、四六七	二四七、八三七	二七六、〇八六
四月	八一〇、〇六七	六八九、三八四	七四二、四七八	三八四、二二六	二七四、一八一	三四九、五九一
五月	六八六、四八一	五九〇、九三四	六二九、七一七	四四三、八九〇	三三六、一九八	三八七、七一八

大月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
六三四七六〇	四二五、三九六	三八八、五四二	三三三、九〇七	一八九、二二七	一四八、〇四五	二〇七、二五八	一、〇九六、三二七
四三五、四三三	二五五、二一四	二六、八七二	一五八、八四九	一二九、四七三	一〇七、七九四	一〇五、八六八	一、〇五八、六八八
五三九、〇六一	三三〇、六二八	三二八、三八三	二〇九、六〇二	一四八、五一七	一二七、三四七	一七五、七〇八	五、一〇、九一
四六八、五二〇	三九三、五九五	三二八、四六八	四四二、〇六五	四三六、六三六	四七六、七六八	七七〇、九二八	七、七〇、九二八
三八六、一七六	三九〇、七八四	二〇九、〇三三	三四九、二四九	二六五、七六一	四一〇、三一〇	四三四、九二四	二、〇九、〇三三
四二八、二九四	三四五、四四四	二七六、九三〇	四二二、九五九	三三三、八二八	四四三、九五二	六五七、八八八	三、七八、九六三

日本銀行

第四節 銀行會社

銀行諸會社ノ新起業ハ近年引續キ減サノ傾リ昨年ノ如キハ著シク其數ヲ減シ減資解散ノ増加ヲ見ケルカ本年入ルモ更ニ新規起業ノ見ル可キモノナキノミナリ新設増資ハ前年ニ比シ更ニ其數ヲ減サシタリ蓋シ數年來不振ノ内、經濟我經濟界ハ本年春期ニ於テ幾分回復ノ曙光ヲ呈セタルモノナリ而シテ工業ハ尚未ダ活氣ヲ現スノ氣運ニ隆會セザリシモ久シノ警戒自營ノ結果財界ノ實力著ク増加シ金融緩慢ニシテ各銀行ノ庫底多額ノ遊金ヲ存スルニ至リレハ之ヲ利用シテ或ハ低利社債ヲ發行シテ舊債トノ借替ヲ爲シ若クハ合併増資等ヲ計リタルモノニモ一方ニ整理淘汰中ニ在リレモ破産者ハ解散者モ亦尠カラズ加ルニ初夏以來滿州問題、關シ日露ノ外交斷リ事ヲシトスルノ端ヲ現シ年末、向ニ從ヒ

日本銀行

益ニ不穩ノ形勢ヲ示シタル以テ痛ノ人心ヲ戰シ一般商工業ハ概シテ手控ノ姿ト爲リ新規事業投資ノ如ク殆ト其ノ跡ヲ絶ツニ至リ今年中全國會社銀行ノ新設増資減資解散ノ景況ヲ表スレハ右ノ如シ

		本年				前年			
		新設	増資	解散	減資	新設	増資	解散	減資
		社数	資本金	社数	資本金	社数	資本金	社数	資本金
商業	一七〇、六八八、三三三	二八、九七五、二〇〇	一、三三三、三〇〇	五、七五四、三〇〇	一〇、三六九、〇〇〇	一、四二二、三三三	四、八二九、四四四	一、三二七、九九九	一、三二七、九九九
工業	六八、八六六、三三三	二、一三三、三〇〇	一、一三三、三〇〇	一、一三三、三〇〇	八、一四八、八八八	二、一四八、八八八	二、一四八、八八八	九、八四七、三三三	二、一三三、三〇〇
農業	八、二五五、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	三、五五五、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	五、五五五、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇
鐵道業	一、一三三、三〇〇	四、八二九、四四四	二、一三三、三〇〇	二、一三三、三〇〇	二、一三三、三〇〇	四、八二九、四四四	二、一三三、三〇〇	二、一三三、三〇〇	二、一三三、三〇〇
銀行業	九、一四四、四四四	七、二八八、八八八	四、二五五、〇〇〇	二、五五五、〇〇〇	八、二五五、〇〇〇	六、二五五、〇〇〇	五、一三三、三〇〇	二、五五五、〇〇〇	二、五五五、〇〇〇
合計	三、五八八、八八八	一、二八八、八八八	二、一三三、三〇〇	五、九二二、三三三	二、五八八、八八八	一、二八八、八八八	二、一三三、三〇〇	二、五八八、八八八	二、五八八、八八八

次、本年末現在銀行會社ノ社数資本金ノ示セハ左ノ如シ

商 業	工 業	本 年		前 年			
		社 数	資 本 金	社 数	資 本 金		
三、三三一	一、三二三	一九三、四九二、〇五八	一九九、五〇一、二四七	二、一七四	一、三二三	一八三、〇〇七、三六三	一九五、六六四、二四七

日 本 銀 行	
------------------	--

日本銀行

農業	一四三	四、五九四、四五八	一、三六	四、三七六、九五〇
鐵道業	四八	二、六九二、七五〇	五一	二、六四六、四〇〇
銀行業	二、三〇八	五、二六八、八六七、七一九	二、三四一	五、二七六、三二二、二四九
合計	六、〇五三	一、一九三、七二〇、四八二	六、〇一五	一、一七五、三一〇、八〇九

備考

本表中諸會社ノ官報所載商標登録記號等ニ調査シ銀行業ハ大
凡そノ報告ニシテ外國銀行ノ多ク且個人合名資シモ含シ
鐵道會社ハ本免許ノ分ニミテ本行ノ調査ニ依ル

更に本年中銀行會社ノ關スル事件ノ重要ナルモノヲ要シハ
左ノ如シ

一月

十日 第百中京西銀行合併ノ假契約ヲ締結ス
十一 今村銀行資本金ヲ七十萬圓増加ス
十四 日本勸業銀行利子引下認可セラル
〃 根津紡績會社總會ヲ開、郡山紡績買収并ニ之ニ
關シ定款ノ改正ヲ交議ス

二月

三日 東京電氣鐵道會社外資輸入談ニ付資本代表者ト
第一回ノ會見ヲ爲ス
十五 第百中京西銀行合併ノ交議ス
十六 日本興業銀行債券參百萬圓ヲ募集ス
十九 日本鐵道會社運賃ノ引下ヲ命セラル

日本銀行

廿四 兵庫漢西銀行臨時休業ヲ爲ス
廿五 第四十八秋田西銀行合併調印ヲ了ル

三月

一日 内外江戸西火災保險會社合併ヲ行フ
三日 京都平安紡績會社西陣紡績會社破産ノ宣告ヲ受ル
七日 勸業銀行第十八回債券參百萬圓ヲ募集ス
十五 大阪地糸株式會社解散ス
十八 本行金利ノ引下ヲ行フ
廿八 京都關西貿易會社破産ノ宣告ヲ受ル

四月

一日 富士紡績會社ニ名木川綿布會社ト合併ヲ行ヒ之ニ
伴フ定款ノ改正ヲ交議ス
十四 福島紡績會社福山紡績會社買収ヲ交議ス

廿、岐阜、岐阜倉庫、十六、三銀行合併ヲ交議ス
廿七、東京株式取引所、改正定款并、營業細則ノ認
可申請ヲ為ス

五月

一日、東京株式取引所、改正定款ヲ開始ス
八日、共益銀行破産ノ宣告ヲ受ク
十三、大東生命保険會社破産ヲ申請セラル
十四、鴻村銀行臨時休業ヲ為ス
十九、美作銀行重役其筋、拘引セラル
十九、大阪、近江、下野ノ三製麻會社合併ヲ交議ス
廿五、京都平安紡績會社休業ヲ休止ス
三十、東京電氣鐵道會社資本金増加并、定款改正ヲ
交議ス

日本銀行

六月

二日、東京電車及東京市街兩鐵道會社合併ヲ議ス
十、諏訪銀行臨時休業ヲ為ス
十七、諏訪銀行破産ノ宣告ヲ受ク
〃、關東中央鐵道解散ヲ交議ス

七月

一日、小名木川綿布會社解散ス
廿六、大阪北濱銀行、名古屋商行買収ノ協議纏リ名古屋
屋商業銀行解散ヲ交議ス
廿八、日本勸業銀行第十九回債券百萬圓募集認可セラル
三十、東京市街鐵道會社、東京電車鐵道會社ト合併
交議ノ紛議ヲ株主ノ申請ニヨリ假處分ヲ命ゼラル

八月

廿五 京都鴨東銀行解散ノ交議入

九月

九日 横濱正金銀行支店、三井、三菱第一、十五、第一百号ノ

各銀行預金利子ノ引下ヲ行フ

十七 高野鉄道會社破産ヲ申請セラル

廿三 東京市街鉄道會社總會紛擾ヲ極メ臨監警官
ハ之ヲ解散ヲ命セリ

廿六日 東京市街、東京電車西鉄道合併ノ申請ハ不認可

ノ指令アリタリ

三十日 三井銀行三池支店廢止ス

十月

三日 日本橋銀行臨時支拂停止ヲ為ス

十九日 京都倉庫會社任意解散ヲ交議ス

日本銀行

三十、 京釜京仁兩鐵道合併認可セラル

十一月

七日 大阪北濱銀行大阪築港公債百五十萬圓ノ賣出ヲ為ス

十六 德島鐵道社債貳拾八萬圓ヲ募集ス

十九、 紀武鐵道會社債大拾萬圓ヲ募集ス

三十、 三井銀行足利支店ヲ廢止ス

十二月

十三 日本勸業銀行第一回發行ノ債券全部ノ臨時償
還ヲ行フ

十四、 水戸六十二銀行臨時休業ヲ為ス

廿五 京釜鐵道連成ノ目的ヲ以テ政府ヨリ特ニ教師ヲ派遣シ

且同社資本是千戸圓ニ對シ元利保証ノ指令ヲ受ヘラレ

タリ

第五章 外國貿易

第一節 輸出入

本邦外國貿易ハ近年頻リニ長足ノ進歩ヲ爲シ本年モ前年ニ比スレバ輸出入共又々一段ノ増加ヲ示セリ則チ輸出入全額ハ六億六百餘萬圓ニシテ空前ノ巨額ニ達シ前年ノ額五億叁千萬圓ニ比スレバ實ニ七千六百萬圓ヲ増加セリ更ニ輸出入ノ關係ニ就テ觀ルニ輸出總計貳億八千九百萬圓輸入總計叁億壹千七百萬圓ニシテ貳千七百萬圓ノ輸入超過ナリトス輸出入ノ權衡上ヨリ論スレハ依然トシテ輸入超過ヲ示レ其額モ亦前年ニ比シ更ニ千四百萬圓ヲ増加セリト雖モ是レ蓋シ昨年末穀不作ノ結果新年以來外國米ノ輸入非常ニ増加シ全年ヲ通シテ五千萬圓ニ上リタルト麦粉類ノ輸入亦未曾有ノ多額ナリレハ之カ主ナル原因ナル

日本銀行

カ如シ而シテ一方輸出ニ在リテハ前年ニ比シ多少減サノモノナキハアラサルモ重要諸品ハ殆ト悉ク増加ヲ示サルハナリ綿糸ノ如クハ特ニ著シキ増進ヲ見タリ又金銀輸出入ノ狀況ハ前年末政府賣債金ノ本邦ニ運送セラル、モノ累月頗ル多額ニシテ本年ニ入ルニ引續キ流入ヲ見クルモ右金貨ノ倫敦ヨリ流入セルモノハ五月以降殆ト其跡ヲ絶チ貿易ノ順調ナルニ拘ラズ八月以後形勢ハ一變シテ遂ニ流出ヲ見ルニ至リ十月以後日露ノ葛藤ハ漸ク事ナリトス一端ヲ現シ外國爲替ハ變調ニ陥リ爲ニ本邦正債ノ海外ニ流出スルモノ漸ク多キニ至レリ今本年中貿易ノ狀況ヲ詳ニセカ爲、諸表ヲ掲記スレハ左ノ如シ

表

- (一)
- (二)
- (三)
- (四)
- (五) 参照

(一)

外國貿易輸出入總額

貨物	輸出	輸入
金銀	二八九、五〇二、四四二	三二七、一三五、五一七
	一九、〇〇一、一九九	二七、八〇七、四九九

(二)

貨物輸出入月別

月	輸出	輸入
一月	二、四二八、三四四	二、四七〇、三六二
二月	一、八八八、九五四	二、四九七、七三一
三月	二、二三九、八四五	三、四七八、五〇八

日本銀行

月	輸出	輸入
四月	二、四六二、七三二	三、三〇九、一〇五
五月	二、三三三、五九八	二、六六〇、五四八
六月	二、二六三、三九三	二、七九八、〇〇八
七月	二、二六〇、八一二	二、七九七、一七八
八月	三、一〇九、九五〇	三、四四二、〇一九
九月	二、八〇九、五〇四	二、九一八、一〇二
十月	三、〇三八、七七一	三、〇三八、六九九
十一月	二、四七八、一七三	二、二〇三、五七四
十二月	二、六五三、八七六	二、七七一、六〇六
合計	二、九五〇、二四二	三、七三三、五五七

(三)

金銀輸出入月別

年	本年		前年	
	輸	入	輸	入
一月	四八五、五三八	三七五、六三〇	二二六、九四八	三六六、八一五
二月	一、三四六、二八五	二、四〇一、五四七	二、三〇、三一〇	三、八三、〇三八
三月	九九、二四七	三、八一五、五四四	二、九、一二二	八、九六、一五八
四月	一、三、六七六	七、二四九、三三四	一、二四、〇二五	二、三七〇、一八七
五月	二、二、九二六	一、〇四七、二七五	四九、四五九	二、四四七、七七二
六月	四、三、〇七二	一、一三三、九五六	五、〇、人二〇	一、〇二一、五二〇
七月	一、六、八、四九七	三、七、五、六三	六、三、九、九五	二、四、九、七七二
八月	一、七、九、九八	一、二、三七、六二四	一、四、六、六四	二、二、八、二、二二
九月	二、六、三、五、八六八	八、八、八、九一八	二、四、六、九、九	二、七、七、六、五、五
十月	一、二、九、二〇四	一、二、九、九、三五五	一、二、二、一、三一	六、二、八、一、六一
十一月	三、六、三、八、〇五	七、一、八、〇、八七	一、四、一、一、七〇	四、八、七、七、九、六
十二月	四、五、七、〇、六、五	五、四、三、〇、四、六	四、九、五、五、五一	六、一、六、六、五、三
合計	一九、〇、一、一、二〇〇	二七、八、〇、七、四、八	二〇、二、八、九、八、二	三三、二、六、一、三、五、九

日本銀行

(四)

輸出品類別

年		前		年	
數量	價格	數量	價格	數量	價格
樟腦	三九八五、三六四	三、五三七、八四四	三、九五三、二二一	三、四〇四、三三三	三、四〇四、三三三
紙煙草	六四〇、六六六	二、〇四七、九九三	七、一七、〇〇五	二、一八八、五九四	二、一八八、五九四
石炭	三、四三三、四五九	一九、二六〇、五〇三	二、九三八、七四一	一、七、二七〇、四一七	一、七、二七〇、四一七
荒銅及熟銅	四六、〇二四、九六六	一四、九〇六、〇三四	三、四、四二二、〇一五	一、〇、二六、九八四	一、〇、二六、九八四
白木綿	八三三、一一〇	四、四八五、五七二	一、八六〇、九七五	一、〇、七九、九〇八	一、〇、七九、九〇八
生金巾	二、二二五、八五八	三、四二四、四五三	一、四、五二二、三五一	一、五二二、〇六一	一、五二二、〇六一
天竺布	一、三一五、五五八	一、〇、六〇、八一五	一、二、八五七、七五五	一、一三四、五〇七	一、一三四、五〇七
綿織糸	九、二一六、八〇八	三、四八八、六一四	五、九、二四四、二八三	一、九、九〇、五二二	一、九、九〇、五二二
錫	二、一三〇、二七八	二、〇九四、四九九	一、〇、〇七四、八三四	一、八〇二、四一五	一、八〇二、四一五
魚油	一、五八九、九三四	一、一八八、〇一五	二、〇、四二二、八九四	一、五〇二、二〇三	一、五〇二、二〇三
寒天	一、三九一、二六八	八、一八、一七二	一、七、六五、五〇一	一、一〇八、五四四	一、一〇八、五四四
磷寸	二、八、六二八、八六九	八、四七三、〇七二	二、七、二九〇、八三一	八、一六九、九六六	八、一六九、九六六
花菱	一	四、六五一、四六五	一	六、七七二、四九六	六、七七二、四九六
磁器及陶器	一	三、一六九、〇〇九	一	二、四六二、五四四	二、四六二、五四四
米	八、二二、四三六	四、九五九、八八〇	一、二六九、二三八	六、六七九、五四四	六、六七九、五四四
生糸	七、三一五、五三一	七、四、四二八、九〇七	八、〇七八、一六六	七、六八五、九四八	七、六八五、九四八
襪糸及屑糸	五、四四〇、七二七	六、九九一、四七二	五、一九三、一七八	五、七、一三、七九六	五、七、一三、七九六
絹製手巾	八、四七、四七〇	二、九三三、四二一	一、〇、一〇、六二〇	三、一五四、二三七	三、一五四、二三七
羽二重	一、九八五、二五〇	二、七、五一〇、四七八	一、八五五、一四九	二、四、六八五、四〇八	二、四、六八五、四〇八
甲斐絹	三、一九五、一六三	一、〇、〇〇、三八六	七、四一九、〇一七	二、七、七二、八八七	二、七、七二、八八七
麦稈稈田	一、〇、三一三、一八七	三、七八七、〇六二	八、六一一、八四一	二、九三三、八五八	二、九三三、八五八
緑茶	一、九八三、二六四	八、一七、七七一	一、七、九四八、五九八	六、二〇三、五八〇	六、二〇三、五八〇
同(藍焙)	一、一、一七一、四〇八	五、〇、八、六三八	九、七八、八二七	三、六二二、一三一	三、六二二、一三一
洋傘	二、五、一七、六三六	一、三、四四、四九九	二、〇、五三、〇八一	一、〇、三三、九二六	一、〇、三三、九二六

日本銀行

291

靴底皮其他諸 靴皮	二一五七、一二一	一五三二、二七八	一九三三、〇九三	二三四六、〇九九
機織類	一	二七七二、八二一	一	二五三三、八〇九
石油	五九七八、〇二〇	八、一三〇、八七二	一	八、〇五二、五三八
油	四三二五、〇七六	一、四四五五、六九七	七五、四八〇、一五四	一四、九三七、一六九
印刷紙類	九、二一七、〇八五	一〇、七三九、三六一	四、四一五、七三七	一〇、一三一、七一二
洋紙類	一	九九一、二七二	一三、三八二、〇八五	一、四〇二、八六二
米	一、一六二、四〇五	五、一九九、〇二七	四、五〇九、〇七二	一、七、七五〇、八一七
塩麴及麴	三、二七六、二八四	一、五五七、四三七	四、〇三〇、〇二八	二、〇一、四八七
赤白砂糖	三、九二三、四八三	二、〇九六、〇三一	二、六三八、一二九	一四、四六七、八一四
牌玻璃片	二、二七、七六三	一、一三八、八三二	二、六七、七七一	一、五〇、〇七一
羊毛	五、四三二、五七六	四、八一、八一	四、〇六六、七七七	三、三九七、五五四
イタリヤクロイツ	一、六二七、五二七	六五〇、五七九	三、一三〇、三一二	一、一八、一七五

綿緬吳呂	一、三、二九五、一三四	四、一八九、〇七六	一、三、二四一、七二三	三、七五四、八三六
羅紗	二、五三二、八二六	二、六一〇、三九四	一、八九五、三三五	二、〇〇、〇一
綿羅紗	一、六一六、二四六	九五四、八五一	二、七一六、〇九五	一、四三〇、〇三四
諸毛布類	三、二二六、四六六	一、七二三、三九四	二、二六六、五三二	一、一一〇、八五九
銀及銅塊計	六、二六七、九四五	一、二五五、九一〇	四、八九〇、九六一	九、八三三、三二六
葉烟草	四、三九〇、六四九	一、〇七七、一八〇	三、五一〇、一四〇	九、五六一、八一七
毛糸	九、六〇二、五七	一、一四四、〇七三	八、八八、五九四	九、二二、一四七
合計	一	二、五四、三〇二、〇六三	一	二、一八、三九九、九九八

第二節 外國為替及銀塊相場

昨年中銀塊相場ノ暴落ハ實ニ空前ノコトニシテ年初廿五
片台ニ至リ相場ハ年末ニ至リテ終ニ二十片臺ニ低落セリ此ノ
趨勢ハ本年ニ入ルニ其勢ヲ改メス一月中ニ於テ更ニ廿一
片台ニ低下セリ去レハ東洋ニ於ケル銀貸國ハ殆ト銀價変動
ノ煩ニ堪ヘズ金貸本位制ヲ採用セルトムルニシテ續出ルニ
至リ雨後二十片臺ニ倂合ヒシレリ四月ニ至リテ俄ニ好
況ニ變シ暴騰シ呈シテ益ニ昇騰ノ勢ヲ示シ十月ニ至リ
テ終ニ二十七片臺ニ達セリ蓋シ如斯銀價ノ暴騰ヲ呈シ
ルハ比律賓島ニ於ケル幣制改革ノ為ノ補助貨鑄造
ノ目的ヲ以テ米國政府カ多額ノ銀ノ買入ヲ為シ倫敦ヘ
ノ運送減少シタト昨年来ノ大下落ニ乘シ一部ノ人々投
機的買收ヲ試ムニ至リ尚支那印度及佛國等ニ於テ銀

日本銀行

ノ需要絶ヘリリ等ハ其重ナル原因ナリレカ如シ雨後ノ
反動ノ為ノ稍低落セシメ尚廿五片臺ヲ維持シテ越年
セリ此ノ銀價ノ變動ハ亦テ銀貸國ニ對スル為替相場
ニ影響シ對清為替ハ常に低ニ居リ傾リシニ年末ニ至リ
シ補償支ナリ又倫敦為替相場ハ年初以來漸次騰貴
セシメ十一月以降米國為替ト共ニ屢次ノ變動ヲ呈シ現
送點以下ニ低落シタリ以テ為ニ本邦正貨ノ巨額ノ流出
ヲ見ルニ至リ今其ノ狀況ヲ表記シテ前年ニ對比スルバ
左ノ如シ

表 (一) (二) (三) (四) (五) 年 契

(二)

紐育為替相場

本年				前年			
最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
一月	五〇弗八	四九弗八	四九弗五	四九弗七	四九弗七	四九弗七	四九弗七
二月	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三
三月	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三
四月	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三
五月	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三
六月	五〇弗	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三
七月	五〇弗	五〇弗	五〇弗	四九弗三	四九弗三	四九弗三	四九弗三
八月	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗
九月	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗
十月	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗
十一月	五〇弗	四九弗三	四九弗三	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗
十二月	四九弗三	四九弗三	四九弗三	五〇弗	五〇弗	五〇弗	五〇弗
全年	五〇弗八	四九弗三	四九弗三	五〇弗八	四九弗三	四九弗三	四九弗三

日本銀行

(一)

倫敦為替相場

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	金
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低
平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低
平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均

日本銀行

上海為替相場

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	金
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低
平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低
平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均

(三)

十 月	十 一 月	十 二 月	全 年
七九 三〇	八三 七〇	八五 七〇	九五 三〇
七七 三〇	七九 七〇	八二 七〇	七七 三〇
七八 二五	八〇 五五	八三 五五	八六 五五
八九 三〇	九五 七〇	九五 七〇	九五 七〇
八八 七五	九〇 七〇	九〇 七〇	七八 五五
八九 五五	九二 五五	九三 五五	八六 五五

香港為替相場

一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月
七八 一〇	七八 一〇	七九 一〇	八四 一〇	八四 一〇	八二 一〇	八六 一〇	九二 一〇
七七 一〇	七七 一〇	七八 一〇	七九 一〇	八一 一〇	八二 一〇	八二 一〇	八六 一〇
七七 五五	七七 五五	七八 五五	八〇 五五	八三 五五	八二 五五	八四 五五	八八 五五
九四 一〇	九一 一〇	九〇 一〇	〃	〃	八六 一〇	八五 一〇	八五 一〇
九一 一〇	九〇 一〇	八八 一〇	〃	〃	八五 一〇	八三 一〇	八四 一〇
九二 一〇	九〇 一〇	八九 一〇	〃	〃	八五 一〇	八四 一〇	八四 一〇

日本銀行

九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	全 年
九二 三〇	九二 三〇	九〇 三〇	八六 三〇	九二 三〇
八九 一〇	九〇 一〇	八六 一〇	八四 一〇	七七 一〇
九一 五五	九一 五五	八八 五五	八四 五五	八四 五五
八四 三〇	八三 三〇	八一 三〇	八〇 三〇	九四 一〇
八四 一〇	八三 一〇	七五 一〇	七五 一〇	七五 一〇
八四 五五	八二 五五	七九 五五	七七 五五	八五 一〇

倫敦銀塊相場

一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月
二二 三〇	二二 三〇	二二 三〇	二二 三〇	二二 三〇	二四 七五
二一 三〇	二一 三〇	二一 三〇	二一 三〇	二一 三〇	二四 一〇
二一 五五	二一 五五	二一 五五	二一 五五	二一 五五	二四 五五
二六 一〇	二五 一〇	二五 一〇	二四 一〇	二四 一〇	二四 七五
二五 一〇	二五 一〇	二四 一〇	二四 一〇	二四 一〇	二三 五五
二五 五五	二五 五五	二五 五五	二五 五五	二五 五五	二四 三〇

全 年	十 二 月	十 一 月	十 月	九 月	八 月	七 月
二 八 七 二	二 六 一 八	二 七 五 八	二 八 六 八	二 七 五 八	二 六 一 八	二 五 五 八
二 四 三 四	二 五 五 八	二 六 一 八	二 七 五 八	二 六 一 八	二 五 五 八	二 四 三 四
二 四 三 四	二 五 五 八	二 六 一 八	二 七 五 八	二 六 一 八	二 五 五 八	二 四 三 四
二 六 一 八	二 三 五 八	二 三 五 八	二 三 五 八	二 四 一 八	二 四 一 八	二 四 一 八
二 一 五 八	二 一 五 八	二 一 五 八	二 三 五 八	二 三 五 八	二 四 一 八	二 四 五 八
二 四 一 八	二 三 五 八	二 三 五 八	二 三 五 八	二 三 五 八	二 四 一 八	二 四 一 八

日
本
銀
行

第七章 彙録

第壹節 法令

○ 法律

六月十六日	第三号	災害地地租延納ニ関スル法律	(七月十五日)
〃	第四号	度量衡法中改正法律	(〃)
〃	第五号	粗製樟腦、樟腦油專賣法律	(六月十六日)
〃	第六号	鉄道敷設法中改正法律	(〃)
〃	第七号	事業公債條例中改正法律	(〃)
〃	第八号	台灣事業公債法中改正法律	(〃)
〃	第九号	日本勸業銀行法中改正法律	(〃)
〃	第十号	農工銀行法中改正法律	(〃)
〃	第十一号	耕地整理法中改正法律	(〃)
〃	第十二号	地租條例中改正法律	(〃)

日本銀行

○ 勅令

二月二日	第八号	災害地地租延納ニ関スル件	(二月二日)
四月四日	第七号	三十大度歳出豫算中第一豫備金ヲ以テ補充シ得ヘク費途ノ件	(四月二日)
八月十五日	第五百七号	明治三十四年勅令第七十四号中改正ノ件	(八月十四日)
九月十五日	第五百八号	樟腦事務局官制公布ノ件	(九月十四日)
〃	第五百四号	度量衡法施行令制定	(九月十九日)
十二月五日	第五百三十五号	農商工高等會議規則廢止	(十二月四日)
〃	第五百九十五号	帝國憲法第七十條ニ依ル財政上必要處ノ件	(十二月廿六日)
〃	第五百九十五号	京全銀道會社ニ関スル件	(〃)

○ 豫算

六月十一日 明治三十七年度歳入歳出總豫算追加 (六月十日)

明治三十七年度 各特別會計歳入歳出豫算

追加 ()

○豫算外契約

六月十一日 豫算外國庫、負擔ト十九ノ契約、件 (六月十日)

○豫算外支出

九月十八日 臺灣樟腦專賣事務所及倉庫増築費明
治三十七年度豫算外支出 (九月十八日)

○第二豫備金支出

四月六日 明治三十五年度第二豫備金支出 (三回)
五月五日 明治三十七年度第二豫備金支出 (二回)

日本銀行

九月十八日 明治三十七年度第二豫備金支出 (二回)

台灣總督府特別會計明治三十七年度第二豫備金支出

○省令

大藏省

一月十七日 專賣局賣渡葉烟草規程、件

三月十七日 稅關、取扱ニ係ル供託金庫移換及利子仕拂

手續、件

九月九日 保管金金庫換及振換拂込ニ其利子仕拂

手續、件

九月十五日 粗製樟腦、樟腦油專賣法施行細則、件

逓信省

六月二十日 清韓小包郵便規則中改正

三月四日 規約貯金特別取扱規則

農商務省

四月廿三 三号

所引所法施行規則中改正

七月廿七 七号

工業試驗所分析試驗及鑑定規則

十月廿七 七号

度量衡法施行細則

訓令

大藏省

九月廿七 三七号

樟腦事務局事務取扱手續

告示

大藏省

四月廿九 廿七号

台灣事務公債四百萬圓發行

臺灣總督府

律令

日本銀行

二月廿二 六号

臺灣地方稅施行規則

(一月廿三日)

二月廿二 九号

臺灣度量衡條例施行規則改正

(二月十日)

八月八日 一号

銀行管業取締規則

(七月十五日)

八月廿二 二号

日本勸業銀行貸付及土地之貸付件

(七月廿二)

第二節 内地雜件

壹月

十五日 地方官會議 召集セラル

二月

四 韓國政府ハ再々第一銀行韓國支店發行手形ノ
通用ヲ禁止セリ

七日 日本船主同盟會東西兩部聯合會名古屋ニ開
會ス

三月

一日 衆議院議員臨時總選舉施行セラル

二 第五回内國勸業博覽會假開場式ヲ行フ

五日 全國藥業組合中央會舘開會ス

十三 政府ハ大藏省証券壹千戸内ノ償却ヲ行ヘリ

日本銀行

廿日 政府ハ帝國公債及台灣公債千七百十六万円ヲ發行
セリ

二 全國手形交換所大會ヲ開ク

廿九日 大日本蚕糸會大集會京都ニ開會ス

四月

九日 東京酒造問屋組合糧物ノ受付ヲ為リ、ルニ日
難其他ノ酒造地ヘ通知ス

六日 全國菓子業者大會ヲ大阪ニ開ク

十日 天皇陛下觀艦式ヲ神戸港畔ニ行フセ玉フ

十三 全國農事大會大阪ニ開會ス

十三 全國茶業大會大阪ニ開會ス

十四 全國織物業大會^(四合)ヲ京都ニ開ク

廿日 第五回内國勸業博覽會開會式ヲ行フ

日三、全國銀行大會大阪に開會ス
 日七、全國農工銀行同盟會大阪に開會ス
 日九、政府、第八回台灣事業公債四百萬圓ヲ發行ス
 日十一、政府、大藏省証券壹千五圓ノ償還シ更、壹千方圓ノ發行セリ

五月

八日、第十八回帝國議會召集セラル
 日十二、西部同盟銀行會大阪に開會ス
 日十五、全國倉庫業者大會大阪に開會ス
 日十六、帝國議會、三日間停會ヲ命セラル

六月

日五、第八回帝國議會開院式ヲ行フ
 日十五、全國商業會議所聯合會大阪に開會ス

日本銀行

七月

日三、四國實業大會徳島に開會ス
 日十五、外國電報料引下實施セラル
 日十七、肉類、一部支送ヲ行フ
 日廿二、足尾銅山に對スル除害命令發セラル
 日廿五、全國取引所聯合會開會ス

八月

日一、第五回內國勸業博覽會開會式ヲ行フ
 日十一、警視廳電氣鉄道取締規則ヲ發布ス

十月

日三、保險業法改正委員會大阪に開會ス
 日九、日清通商條約調印セラル
 日十五、倉庫業者大會省、出張し保稅倉庫法修正ヲ片陳情ス

十六

第八回關東區實業大會并全國製糸業者大會
長野市に開會ス

十七

十一月

十八

國勢調査準備研究会第一總會ヲ開シ

十九

烟草官營反對同盟會意見書ヲ發表ス

二十

天皇陛下 特別大演習御統裁ノ為ノ姫路地
方へ行幸アリタルニ

二十一

政府ハ明年度財政計畫ヲ發表ス

二十二

米國萬國貨幣委員センクス未行貨幣問題ニ
付リ協議ス

二十三

全國畜産會第十一回大會開會ス

二十四

全國農工銀行大會開會ス

二十五

大蔵省ハ酒類庫出税ノ理由ヲ公示ス

日本銀行

十二月

二十六

政府ハ行政整理ニ關スル勅令數十件ヲ發布ス

二十七

全國絹織物業聯合會開會ス

二十八

第十九回帝國議會開會ス

二十九

衆議院解散ヲ命じラル

三十

政府ハ三十七年三月一日衆議院議員ノ總選舉ヲ
行フ旨ヲ公布セリ

三十一

紡績聯合會委員大阪ニ會シ棉花運賃割戻

ノ件ヲ協議ス

三十二

外交不穩ヲ為ノ株式下落ヲ呈ス

三十三

曾根大和大臣各銀行當事者ヲ官邸ニ招キ時局ニ
關聯スル金融ノ件ヲ説示ス

第三節 外事要目

一月

七日 合衆國代議院布哇ニ於ケル銀貨還收法案ヲ通過ス

十一日 瓊勾連邦ノ經濟上ノ協定成ル

十四日 合衆國ノ石炭輸入税ノ廢止又ハ輕減法案ハ上下

兩院ヲ通過セリ

廿三日 ^{コレビヤ政府ト}巴拿馬運河條約華盛頓ニ於テ調印セラル

廿八日 露國政府新聞税ヲ公布ス

二月

十四日 波斯國新聞税法ヲ實施ス

廿日 墨西哥政府貨幣會議ヲ墨西哥ニ開ク

三月

日本銀行

二日 土耳其政府六千万法ノ公債借換ヲ發表ス

十五日 瑞西國ハ人民投票ヲ以テ保護主義ノ新聞税採用

ニ交セリ

十七日 合衆國元老院ハ巴拿馬運河條約ヲ承認セリ

十九日 合衆國元老院ハキューバ互惠條約ヲ承認ス

四月

十一日 和蘭國ノ^兩院非同盟罷工法案ヲ通過ス

十七日 獨逸政府ハ三令利付公債貳億九千萬馬克ヲ發行

セシニ應募額四拾七倍半ノ巨額ニ達セリ

廿日 露國キシネツフニ於テ多數猶太人虐殺セラル

五月

七日 杜國三令利付公債參千萬磅ヲ發行ス

一日 北カリフォルニア州ハ十歳以下ノ兒童ヲ紡績會社ニ使

用禁止ノ法律ヲ實施ス

廿日 新嘉坡議會ハ新貨幣法ヲ承認ス

六月

五日 佛國元老院ハ二年兵役法案ヲ可決セリ

七月

一日 合衆國新設ノ商工務省事務ヲ開始ス

十七日 英國及波斯間通商條約ノ締結發表セラル

十八日 清國政府ハ露清銀行ト貳百萬兩ノ公債借款ヲ締結ス

廿二日 露國ハ鉄道公債壹億六千萬法郎ヲ巴黎ニ募集セリ

九月

十七日 英國内閣動搖シ二三ノ閣員辭職ヲ為ス

十九日 バルチモア市ノ信託會社中支拂停止ヲ出シ同市為

ニ恐慌ヲ惹起ス

日本銀行

三十日 加奈太議會ハ大陸交通鉄道法案ヲ通過ス

十月

廿七日 比律賓新幣制ヲ實施ス

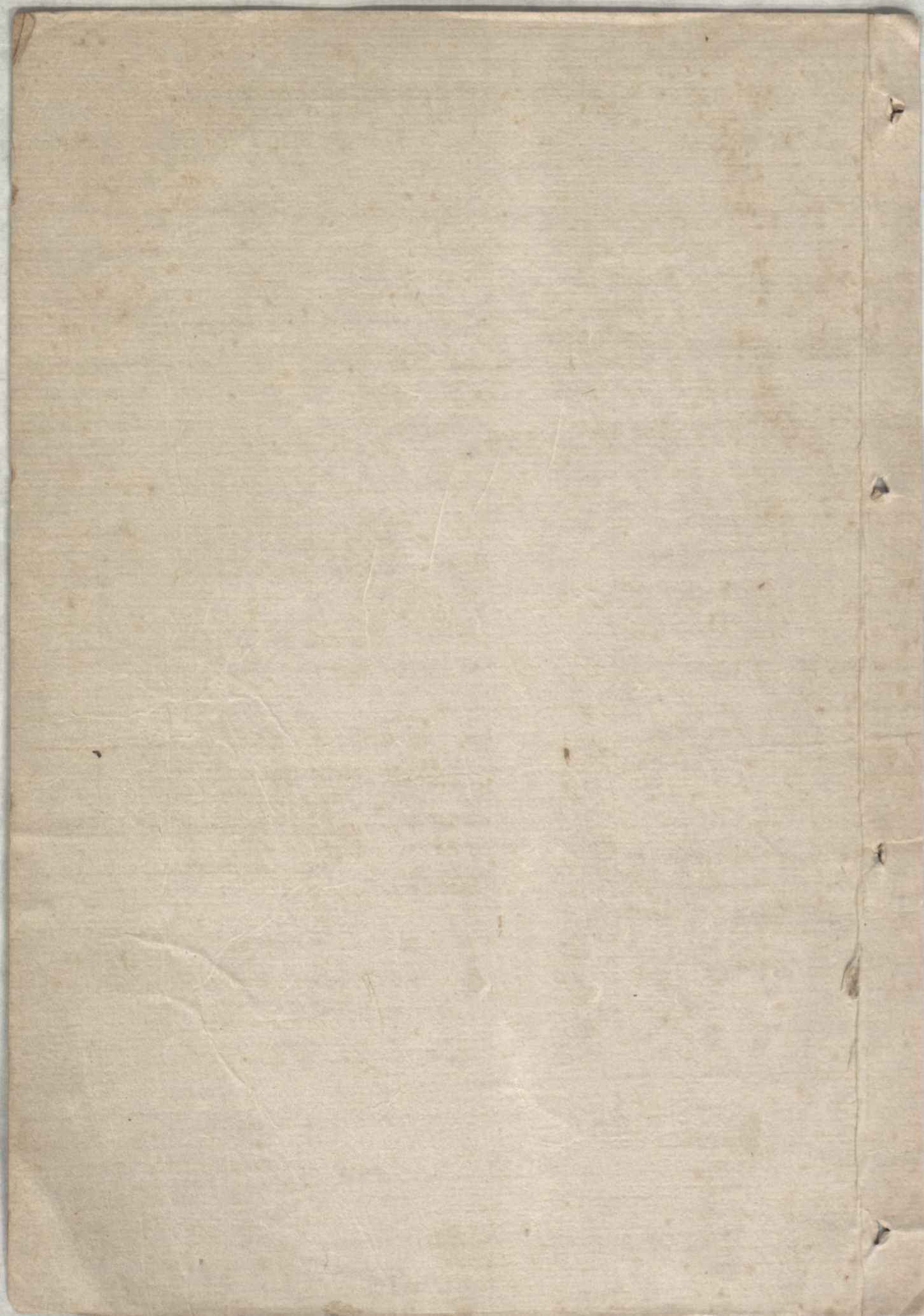
十一月

十日 英國政府大藏省証券冬百萬磅ヲ發行ス

廿九日 合衆國議會ノ開キキユバ文惠條約ヲ通過ス

十二月

二日 巴拿馬共和國政府ハ巴拿馬運河條約ヲ調印ス



大正十一年受
永年存
簿第6號
15册之内18
館6函